

南陽市字限図調査報告書（3）

— 漆山・梨郷 —

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

2023年3月

南陽市教育委員会

南陽市字限図調査報告書（3）

— 漆山・梨郷 —

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

令和5年3月

南陽市教育委員会

凡　例

1 本報告書は、埋蔵文化財分布調査基礎調査として平成 25 年度から実施してきた南陽市内の地名と字限図調査のうち、漆山、梨郷分をまとめた南陽市字限図調査報告書及び令和 3 年度に実施した坂上神明宮所蔵の棟札及び神像調査の報告書である。

2 調査は、南陽市教育委員会が実施した。

3 事務局体制は次のとおりである。

主 管 課 スポーツ文化課（平成 25、26 年度）

社会教育課（平成 27 年度～）

事 務 局 スポーツ文化課長 江口和浩（平成 25、26 年度）

社会教育課長 田中吉弘（平成 27 年度）

〃 佐藤賢一（平成 28～30 年度）、

〃 板垣幸広（令和元～2 年度）

〃 山口広昭（令和 3～）

社会教育課長補佐 角田朋行（平成 25 年度～）

社会教育課嘱託・会計年度任用職員 齊藤紘輝（令和元年～）

4 本報告書の執筆、編集は角田朋行が行った。

5 字限図のデジタル化は、これまで主に下記の分担により行った。

角田朋行：赤湯、金沢、長岡、樅塚、姐柳、松沢、三間通、上野、二色根、大橋、郡山、島貫、中の目、中落合、西落合、萩生田、若狭郷屋、鍋田、長滝、蒲生田、高梨、閑根、露橋、沖田、坂井、法師柳、宮崎、宮内、金山、梨郷、和田、竹原、砂塚、羽付、池黒、漆山、川樋、小岩沢、小滝、荻、下荻、太郎

齊藤紘輝：漆山、川樋、小岩沢、小滝

6 土地利用図の地目毎の塗り分けは下記によった。

	道		墳墓地
	水路・川・湖沼		畠
	橋		水田
	宅地		草地・原野・茅場・荒地・堤塘
	寺・神社		林

7 小字名の漢字は、明治期の字限図の記載によった。

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の経緯等	1
2 字限図について	1
3 調査範囲	1
4 作図	1
(1) 字限図のデジタル化と土地利用図の作成	1
(2) 土地利用図等を作成する際の修正について	3
5 字限図及び土地利用図の活用法	3
第2章 土地利用図調査（地区別調査）	4
1 漆山地区	4
(1) 漆山地区の概要と特色	4
(2) 漆山地区的集落・屋敷・館等	4
(3) 明治期の土地利用図（漆山）	8
①漆山	8
②池黒	10
③羽付	12
2 梨郷地区	14
(1) 梨郷地区的概要と特色	14
(2) 梨郷地区的集落・屋敷・館等	14
(3) 明治期の土地利用図（梨郷）	20
①梨郷	20
②竹原	22
③和田	24
④砂塚	26
第3章 南陽市（漆山・梨郷・大塚）の小字名及び地名	28
1 漆山 (1) 漆山の小字名・地名	29
(2) 池黒の小字名・地名	36
(3) 羽付の小字名・地名	39
(4) その他の地名等	41
2 梨郷 (1) 梨郷の小字名・地名	42
(2) 竹原の小字名・地名	45
(3) 和田の小字名・地名	49
(4) 砂塚の小字名・地名	51
(5) その他の地名等	53

3 大塚（1）大塚の小字名・地名	54
坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査	
1. 経過	55
2. 史料について	55
3. 理化学分析	56
4. 制作年代について	56
5. 棟札のカビ除去等処置について	57
6. 年代測定	58
引用・参考文献	65

表 目 次

表 1 字限図の保管場所	2
表 2 漆山の城館遺跡	5
表 3 梨郷の城館遺跡	15
表 4 小字名・地名の出典	28

挿図目次

第 1 図 南陽市内の地区境	1
第 2 図 デジタル国化方法	2
第 3 図 漆山地区の土地利用図(山間部除く)	5
第 4 図 漆山の屋敷や館跡 1	6
第 5 図 漆山の屋敷や館跡 2	7
第 6 図 土地利用図 漆山	9
第 7 図 漆山の小字名	9
第 8 図 土地利用図 池黒	11
第 9 図 池黒の小字名	11
第 10 図 土地利用図 羽付	12
第 11 図 羽付の小字名	13
第 12 図 梨郷地区の土地利用図(山間部除く)	15
第 13 図 梨郷の屋敷や館跡 1	16
第 14 図 梨郷の屋敷や館跡 2	17
第 15 図 梨郷の屋敷や館跡 3	18
第 16 図 梨郷の屋敷や館跡 4	19
第 17 図 土地利用図 梨郷	20
第 18 図 梨郷の小字名	21
第 19 図 土地利用図 竹原	22
第 20 図 竹原の小字名	23
第 21 図 土地利用図 和田	24
第 22 図 和田の小字名	25
第 23 図 土地利用図 砂塚	26
第 24 図 砂塚の小字名	27

第1章 調査の概要

1. 調査の経緯等

市教育委員会では、平成三～五年度に市内遺跡分布調査の基礎となる内部資料を作成するため市内平野部の字限図調査を実施した（角田 1993）。各地区の小字の字限図から字寄図を作成し、それを基本図として土地利用図、旧地形推定図、館跡や条里制等の分布参考図等を作成し、分布調査等の諸調査に活用してきたが、平成二十五年度から新たにこの字限図調査のデジタル化に取り組んだ。

今次調査では字限図をデジタル化したうえで土地利用図を作成し、小字名・地名を採録した。これまで赤湯・宮内・金山・沖郷地区分が報告済みとなっており、本報告書では漆山・梨郷地区分について報告する。



第1図 南陽市内の地区境

2. 字限図について

表題は、明治七年調製のものは地租御改正精絵図、明治八年調製のものは国、郡、村名に統いて字限図、全地字限絵図、字限全地絵図、全地絵図、精絵図、明治二十五年及び二十六年調製のものは単に地図、字切図となっている。様々な名称が用いられているが、本報告書では字限図の呼称を用いる。南陽市内の明治時代の字限図は、市教育委員会、市税務課、各地区に保管されている。字限図の保管場所は表1のとおりである。今次調査では、主として明治七年（1874）、八年（1875）、二十六年（1893）の字限図を主に使用した。

なお、調製後に他の地区へ小字の編入があった場合も当該小字は編入前の地区分とした。

3. 調査範囲

土地利用図作成による調査範囲は、南陽市域のうち山間部を除いた範囲とし、主に宮内扇状地の地域を対象とした。今次報告地域は、漆山・梨郷（山間部を除く）である。

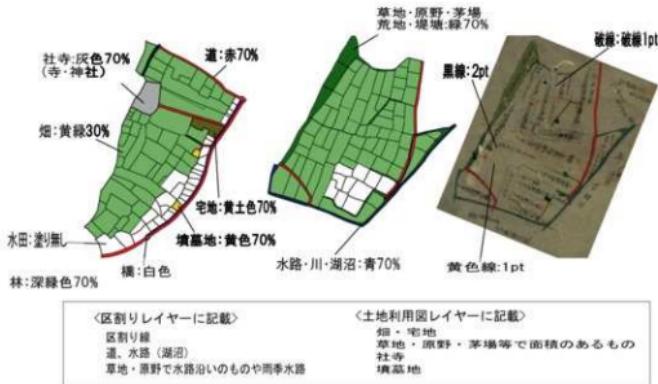
4. 作図

（1）字限図のデジタル化と土地利用図の作成

スキャナーで読み込んだ字限図を1葉ごとデジタルトレースし、作成した小字単位の土地利用図を張り合わせ、地区毎の土地利用図を作成した。

土地利用図を作成するために、小字の輪郭をデジタルトレースし、地目毎に次のような配色で色分けを行った。なお、地目変更がある場合及び畦線等の変更・追加があった場合は古い方を優先とした。ソフトはInkscapeを使用した。

水田は白抜き、畑は黄緑色、草地・原野・萱場・芦場・高岸・砂地は緑色、水路・湖沼・溜池・川は青色、道路は赤色、宅地・公共用地は茶色、墓地は黄色、神社・寺は灰色、山林は濃緑色、温泉は紫色に塗り分け、土地利用図を作成した。



第2図 デジタル化方法

地区	デジタル化歴	明治 7 年	明治 8 年	明治 22 年	明治 25 年	明治 26 年	明治 27 年	明治 31 年	年不明・昭和
赤瀬									
赤瀬	赤瀬	118	○			○		○	
金沢		36	○			○			
長岡		31				○			
門塙		80				○		○	
姫柳		32				○			
松沢		32	○		○				
三郎通		59	地						
上野		19						□	
二色椎		32					地		
大根		43					□		
沖郷									
郡山		39	○			□			
島貫		17	○			□			
中ノ目		55				□			
中落合		29	○			□			
西落合		16	○			□			
秋生田		40	○			□			
若狭郷屋		24	○			□			
網田		81	○			□			
長静		14	○			□			
萬生田		54				□			
高型		48	○			□			
間根		42	○			□			
露橋		40					□		
沖田		16	○			□			
坂井		17	○			□			
法師柳		25	○			□			
宮崎		127	○			○・□			
宮内	宮内	201				○			
金山	金山	150	○		○				
梨郷	梨郷	90	○				□		
和田		45				○・□			
竹原		49	○			□			
砂塙		88				□			
漆山	羽付	32				○			
	漆山	81	○		○	○			
吉野	池黒	67	○						
萩			○			□			
下荻			○			□			
小瀧						□			
太郎						□			
中川	川穂							□	
	小岩沢							□	
	新田							□	
	元中山			□					
	日影			□					
	金瀬戸			□					

*全ての小字が描っていないものを含む。

○: 市史編さん室、地: 地区保管、□: 税務課保管

表 1 字限図の保管場所

(2) 土地利用図等を作成する際の修正について

個々の字限図は、歪みや計測時の不正確さがあり、隣同士であっても境界の形状が合わないことは珍しくない。地区毎の土地利用図の作成にあたって、その修正については概ね次の方法によった。また、作成した小字単位のデータとそれを集合させた地区毎の土地利用図は別に管理し境界線の修正状況を追認できるように図った。

- ・地形図に重ね合わせて正誤が判断できる箇所は地形図に沿って修正する。
- ・周辺の図との整合性から、明らかに変形している図のみを修正する。
- ・どうしても齟齬を生じる境界については、相互の境界線を近づけるように互いの境界線を変形させて擦り合わせる。

なお、中世城館等の埋没遺構等、詳細な検討を要する範囲については、ベースとなる地形図の上に小字単位の土地利用図を重ね、必要に応じて昭和二十年代等の空撮写真とも照合した。

5. 字限図及び土地利用図の活用法

明治期の字限図を元に作成した土地利用図では、重機による大規模な開発が行われる以前の微高地や旧河道といった自然地形、溝跡のような人為的地形が判読可能である。明治時代まで使用されていた廐道や古い水路の位置も発掘調査前に把握できる。

小字名・地名からは、古墓地、寺跡、神社跡、古墳等が推測される場合や、小字名・地名が土地の成因や環境を示していることも多い。地名については、古語（やまと言葉）による経験則的な地名研究やアイヌ語地名の研究の例も知られており、字名一覧の備考欄には参考としてカナで記載した。また、方位や位置を示す「東西南北」、「前後」、「裏」が付く地名からは、どの方向から人々がその土地を見ていたか推測できる。なかでも「前田」等、「前」が付く地名は、宮内扇状地内では屋敷や墓地の南側を意味する割合が70%であった。

土地利用図では、地目（土地利用法）及び地割から得られる情報がある。

地目からは、土地の高低が推測できる。一般に水田は低地である。宅地や畠地は微高地である場合が多い。草地は営農に適さない土地であることが多く、河川沿いの低湿地帯や斜面、崖、水路の肩、塚等に見られる。水田（畠地）の中にはぼつりと畠地（草地）が残る場合は古墳、塚、古墓地の可能性がある。このような場合で当該地目内で交点を持つ地境が見られる場合は高塚の可能性がある。

地割からは、館跡、道路跡、水路跡、旧河道、条里水田跡、河川氾濫跡等を読み取ることができる。河川氾濫跡では新旧の切り合い関係をみることもできる。館跡ではしばしば周囲に堀跡が水田化した地割を見ることができる。最上川等の河川沿いでは開墾に伴う長割りの地割が見られ、その長軸方向は排水方向に一致する傾向がある。湿地性の水田では、一般的の水田に比べ一区画が小さく密になる傾向がある。

なお、土地利用図は明治初期の状況を示すものである。地名や地割りが年代的にどこまで遡りえるのか、地割りの性格や成因には、発掘調査や文献等の様々な手法による検証が必要である。また、正確性に欠く古い字限図を基にしていることから、今次作成の土地利用図及び字名図が現在の地図や地籍図と合わないことは多々あり、何らかの公的な基準としては使えないため、用途を間違えないよう注意を要する。

第2章 土地利用図調査（地区別調査）

1. 漆山地区

（1）漆山地区の概要と特色（第3図）

漆山地区は、宮内扇状地の織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）による扇状地の扇頂から扇央付近に位置する。織機川を境に東が池黒、西が漆山となっており、漆山の西が羽付である。織機川の東西には広く自然堤防が発達している。集落は山裾の緩斜面地や自然堤防の微高地上に立地している。

池黒地区は、地区的北半で織機川左岸の自然堤防外縁に沿って織機川の旧河道が見られる。地区東辺から南にかけて神明堀川が南流し、やがて上無川（別名：高松川、栗屋川）になる。また矢ノ目川が矢の目橋で上無川に合流するなど、地区的南半は多くの河川が集まる土地になっている。館関連地名や屋敷地名も数多く残る、延暦年間の創建と伝わる池黒皇大神社が鎮座し、多くの城館址が残る地域である。池黒皇大神社北東の宮内別所山の北斜面からは保延六年（1140年）銘の別所山經筒が出土している。

漆山地区は、織機川右岸の自然堤防上に集落が立地し、地区的中央付近を織機川の派流である大江川が南南西に流れ、その両岸にも自然堤防が発達している。大江川の右岸に広がる天王遺跡では古墳群や館跡が確認されている。館関連地名や屋敷地名も多く残り、山々には多くの城館址が残る。鶴の恩返しの民間伝承が残る寛正元年（1460年）開山の鶴布山珍藏寺がある。

羽付地区は、北部の山裾に沿って集落が広がり、その合間に梨郷堰が西流している。南には水田が広がるが、小字名「高山原」という古い自然堤防が北東から南西にかけて見られる。山地部には神社や館跡が残る。

（2）漆山地区の集落・屋敷・館等

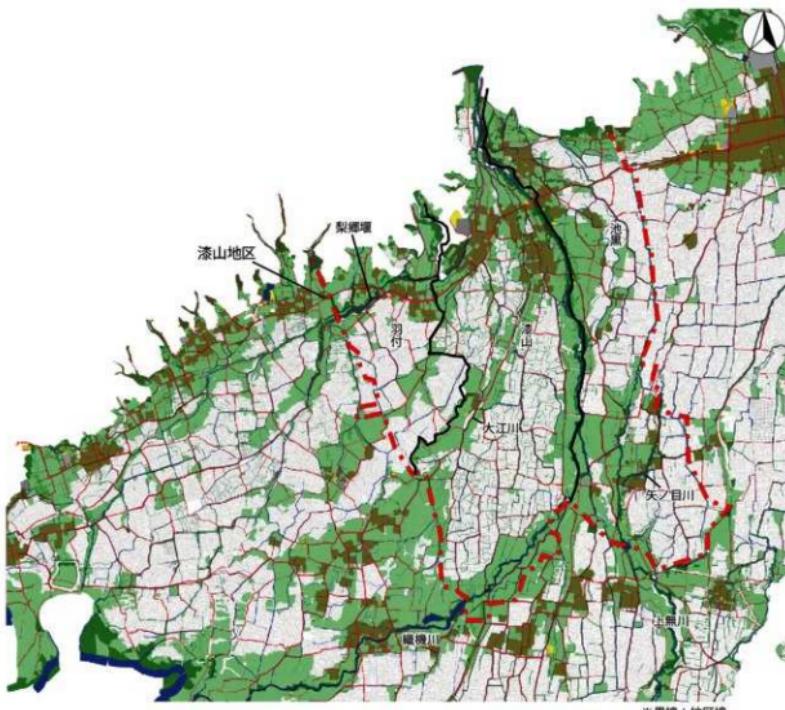
漆山地区の中世城館跡は、現在8ヶ所が確認されている（表2）。そのほとんどは山間地に立地し、平野部の城館跡としては天王遺跡の屋敷跡のみが知られている。土地利用図で確認された集落・屋敷・館等を下記に記す（第4、5図）。

①池黒字館之内は、織機川左岸の自然堤防に立地し、池黒館山館の南に位置する。北は字館山に接している。館之内の南辺には織機川の旧河道が走り、堀の役目を果たしていたものとみられる。旧河道に沿って「土戸川原」「川原」「石台」といった河川地名が残り、旧河道を挟んで南に字馬場がある。

②池黒字猫子屋敷は、織機川旧河道の左岸に位置する。「猫子屋敷」は館関連地名である「根小屋」の転化と考えられる。平成二年度に市教育委員会が実施した富貴田遺跡発掘調査では平安時代と中世に集落があったものと考えられている。

③池黒字木ノ実小屋・弁天・東弁天・南弁天・五倫壇付近では、自然堤防上に屋敷が散在している。木ノ実小屋は、製蠅用の漆の実を納めるため元禄三年（1690年）に設けられた木の実御蔵があった所と考えられる。地区名「漆山」に関連が深い地名である。

④池黒字西屋敷は、矢ノ目川と上無川に挟まれた微高地に立地する方形の屋敷地である。すぐ北辺は字「大坪」になっている。



第3図 漆山地区的土地利用図（山間部除く）

※黒線：地区境

遺跡名	概要
備後館跡	山峠を約6kmほど入った峠の沢・須刈田の三叉路の地にある。比高10mの丘城で主郭は長軸90mである。文治元年（1185年）備後の武士がここに落ち延び館を構えたと伝わる。
別所館跡	池黒別所山（羽黒山）の山頂に主郭を置く。標高368m、比高120mの山城で長軸230mである。源義家や坂上田村麻呂の屯地と伝わる。
漆山館跡	高台に立地する古館と新山館と呼ばれる館跡を一括して漆山館と呼んでいる。古館は標高255m、新山館は標高270mである。南北100～200m、東西400mの規模の山城である。城主不明だが戦国後期に粟野氏の一族が新山を領有した。
稻荷山物見跡	標高300mに位置し、主郭には稻荷神社が建つ。北側の尾根を大きな二重垣切で斬ち切っている。
阿弥陀山物見跡	標高260mの阿弥陀山の山頂に位置する。北側の尾根を堀切で断ち切っている。
池黒館山館跡	最高所は標高362m、比高95mである。上の平山の南西、南に延びた枝尾根上に立地する。山裾に「館山下」「館山」の小字名が残る。尾根頂よりやや下ったところに主郭となる二段の大きな曲輪を設け、背後は堀切で尾根を断っている。前方の二つに分かれた枝尾根上に階段状の曲輪群を設けている。
大滝沢館跡	主郭は字「大滝沢」「雪ヶ沢」「館ヶ沢」が交差する標高約463m、比高199mの山頂に位置し、虚空蔵様の祠がある。斜面には帶曲輪、周囲の枝尾根には階段状の曲輪群を配し、南西方向の尾根の先には堀切を設けている。「流」は「瀧」が転化する場合があることが知られており、「館ヶ沢」の西にもさらに字「西瀧」がある。
天王遺跡	字天王に位置する。平成19年に山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を行い、壇跡を有する方形の屋敷跡を検出した。壇跡からは青磁等、中世陶磁器が出土した。

表2 漆山の城館遺跡

- ⑤漆山字古館・西屋敷は、漆山館跡として知られる字古館・字新山と、その館の下に位置する集落地である。西屋敷は水田面に比して高台になっている。この西屋敷の南方には小字名「大根在家」が広がっている
- ⑥漆山字東屋敷は、織機川右岸の自然堤防上に立地した集落地である。
- ⑦羽付字道之下は、深い堀状を呈する梨郷堰の右岸に位置する。字道之下の土地を東西に分けるように北から流れる谷川があり、堰と谷川に囲まれた舌状の高台に屋敷が立地する。
- ⑧羽付字道東は、梨郷堰の左岸の緩斜面に広がる集落地である。漆山館跡の南に位置し、集落景観としては漆山の西屋敷から連続している。漆山館に関連した屋敷地と思われる。



①池黒字鎧之内



②池黒字猫子屋敷



③池黒字木の実小屋・并天・東并天・南并天・五倫塙



④池黒字西屋敷



第5図 漆山の屋敷や館跡2

(3) 明治期の土地利用図（漆山）

①漆山

織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）の右岸に位置し、地区の中央を織機川の派流である大江川が南南西に流れる。地区名の漆山は米沢藩特産物の漆の产地であったことに由来すると思われる。漆山地区の平野部の小字では「河原」「谷地中」「広面」のように旧河道や低地を表すものや、「細田」「柳田」のように水田の形状を表すものなど、自然地形に由来するものがみられるが、下記に述べるように比較的歴史的な地名が多い。

織機川の右岸沿いには「東寺町1～4」「西寺町1～5」の小字名が連なっているが、現在池黒地区にある羽黒神社は、元は三堀寺宝乗院という修験寺で、現在地の西方約100 mの地点にあったが度重なる洪水のため元禄十二年（1699年）に現在地に移転したと云い（山田 1965）、東寺町や西寺町の小字名はこれに関連すると思われる。市史上巻では東寺町と西寺町の間に三堀寺があったものと推察している。

大江川の自然堤防に位置する「塚原」の塚地名は、古墳に由来することが多い。「塚原」に接する「天王」では県埋文センターによる天王遺跡の発掘調査（高橋 2010）で古墳群が確認されていることから「塚原」にも古墳群が存在する可能性がある。

また、「天王」は牛頭天王社に由来し、その石祠の南側には戦後まで民家があったとされ、発掘調査では中世の屋敷跡に伴うとみられる堀が検出されている。

「大仏」「大仏東」は県内第2位の大きさを誇る文和三年阿弥陀板碑に由来する。「備後塚」の南東角付近には備後三郎の首塚があったと伝えられ、中世にさかのぼる墓地があつたと考えられている。

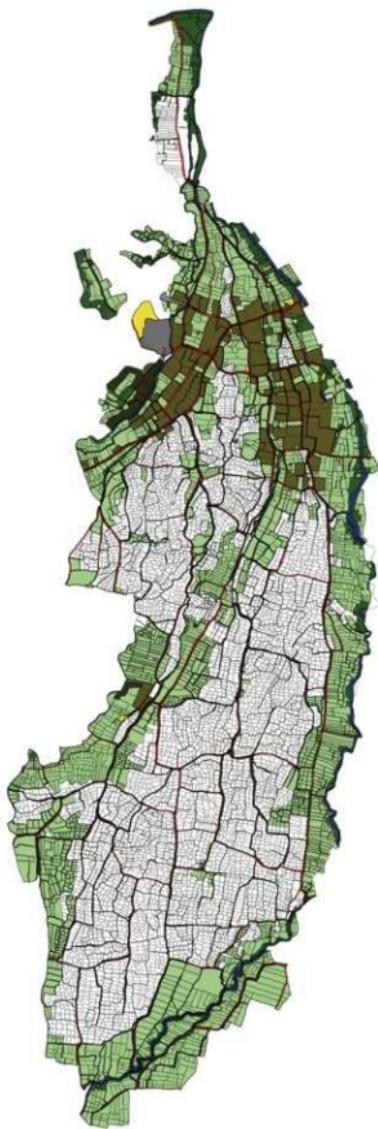
「大根在家」は在家地名である。オオネと読めば根小屋に関連する可能性もあるが寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳では「大こん才け」と記す。また「新山」は天正十三年（1585年）の北条段鉄帳に出てくる新山在家があつた所であろうか。

「古館」「新山」で確認された中世城館跡の古館と新山館は、二つ併せて漆山館といふ名称で遺跡登録されている。織機川の谷口付近の「上達」も館地名の可能性があるが、令和3年度にその北西の山である「大滝沢」「館ヶ沢」「雪ヶ沢」で大滝沢館跡が新規確認された。古館・新山の漆山館の背後の山にも館があつたことになり、それを平地から見上げて上館と呼んだ可能性もあろうか。ちなみに「館」が転化して「滝」地名になる事例は多く知られており、この大滝も大館があつたかもしれない。

「西屋敷」「東屋敷」は集落地である。「上・下横打」は河川の氾濫で横から土地が打ち崩された土地であろうか。

このほか漆山地区は北に広大な山地を有する。山地部は今次調査の範囲外となるが、「備後館」「備後館下」「館石」「館岩」「中館岩」「東館岩」「西館岩」「館ヶ沢」といった城館に関連すると思われる小字名が残る。また、寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳では「たての下」「達の下」「内達」「達の内」等の地名もみられる。

条里に関連するような地名は見られないが、郡山遺跡群や沖郷条里制の状況（角田 2022）からすれば、織機川が郡端川や大里端川（条里の端や郡衙のあつた大里の端を成す川）からの転化という可能性も考えるべきかもしれない。



第6図 土地利用図 漆山



第7図 漆山の小字名

②池黒

池黒は昔は池川村と言い、織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）の左岸に位置し、織機川や織機川旧河道の自然堤防上に集落が立地する。「池黒（右夫馬）」という源義経の御召馬を産したという伝承（文化八年（1811年）光保里觀世音縁記）（山田1965）が残る。

自然地形を示す小字名・地名を見ていくと、織機川の自然堤防付近には「^{つちど}土戸川原」「川原」「新右衛門川原」と言った河川関連地名や「中嶋」のような中洲地名が残る。自然堤防の背後には「石台」「砂田」「台之上」といった洪水等による土砂堆積地名がみられる。織機川の旧河道上には「川原」「沢田」「細田」の地名が残り、織機川の派流域にも「上川窪」「下川窪」の旧河道地名が残る。上無川周辺では自然堤防を意味する「土手岸」があり、その後背湿地には「沢見」「井戸尻」「江留」などの低湿地地名が残る。また、「永増」は上無川と矢ノ目川に挟まれた中洲状の土地を示す長間洲の転化であろうか。

次に歴史的小字名・地名を見ていくと北側の山麓に中世城館跡に由来する地名が多く残っていることがわかる。

池黒の平野部北辺に接する山地である字「上之平」には、西から池黒館山館、別所館の二つの館が立地している。「館山下」「館山」「館之内」には、これらの山城の根小屋や日常の生活の場としての館があったと思われる。また、「館之内」の南には旧河道を挟んだ向かい岸に「馬場」があり、さらにその南東には「猫子屋敷」「猫子前」がある。これら「猫子屋敷」等は根小屋の転化とも考えられる。

「日渡」は旧河道の合流地点にあたっており、河川の渡河地点か或は川に樋を渡した樋渡しや荷物を上げ下ろした荷渡しの転化であろうか。「木ノ実小屋」は、製蠅用の漆の実を納めるため元禄三年に設けられた木の実御蔵があつた所と考えられる。

「神明前」は坂上神明宮の南にあたり、この付近に北条寺があつたと伝わる。坂上神明宮には皇大神社の応徳三年（1086年）棟札（近世作）が残り、坂上神明宮の鎮座する別所山の北からは保延六年（1140年）銘の宮内別所山經筒が出土している。

「庚壇」「壇ノ前」「五倫壇」は近世墓地があつたものと思われる。「弁天」「東・南弁天」は弁天を祀っていたと思われ、「観音前」には羽黒神社と三塙観音がある。この羽黒神社は、元は三塙寺宝乘院という修験寺で、現在地の西方約100mの地点にあつたが度重なる洪水により現在地に移転したと云い（山田1965）、慶応四年（1868年）に神社になった。「京田」は経田のことで寺に寄進された田と思われ、「八幡田」は八幡神社があつたか或はその免租田と思われる。「稻荷田」には稻荷神社があつた。

屋敷地名は「猫子屋敷」「西屋敷」「六屋敷」がみられる。天文二十二年（1553年）伊達晴宗公采地下賜録には「ほりとめ在家」「したの在家」「なかほり在家」「をしま在家」「たての在家」の在家人が記され、天正十三年（1585年）北条段錢帳には「たての内在家」が記されている。その場所は不明だが、小字名からすると「ほりとめ在家」は「江留」付近に、「したの在家」は「館山下」に、「たての在家」は「館之内」にあつたものか。また「たての内在家」は東矢ノ目村にあるとされる。

「別所」は、「本村に対し追加開墾を許された土地」、「熊野大社関連の地名」、「蝦夷の俘囚を住ませた地」など諸説がある。「大坪」は条里制地名の可能性が考えられる。



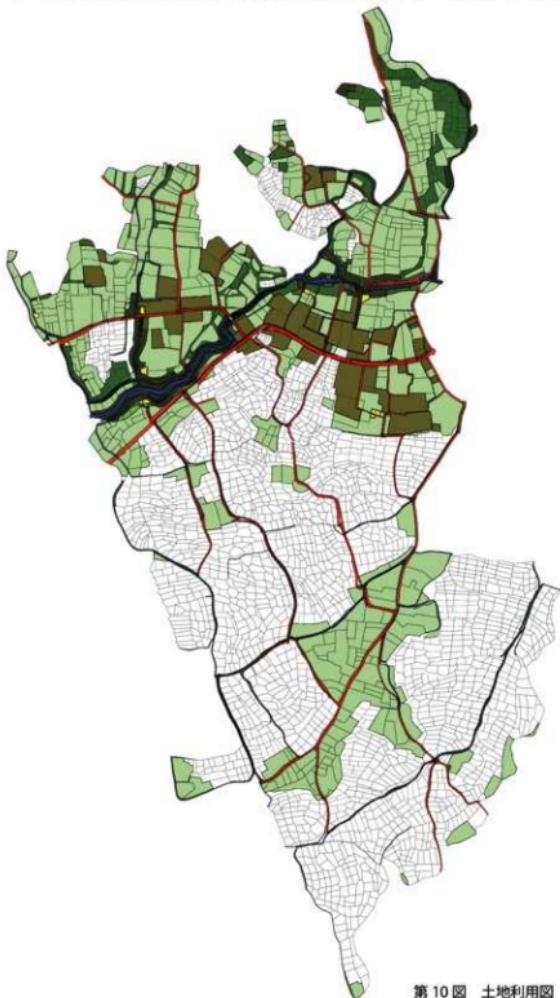
第8図 土地利用図 池黒



第9図 池黒の小字名

③羽付

羽付は、かつては羽月村と呼ばれていたと伝わる。山裾の緩斜面に沿って集落が広がり、その合間に梨郷堰^{はづき}が西流している。集落の南には南を意味する場合が多い「前」を冠する「前田」が広がり、その以南に水田が広がる。水田地帯の中に小字名「高山原」という古い自然堤防が北東から南西にかけて延びており、その東側の旧河道とみられる付近には、「細田」や「扇田」のような水田の形状に由来する小字名が残る。今次調査の範囲外であるが山間部には神社や館跡が立地している。「稻荷下」は稻荷神社の下に



第10図 土地利用図 羽付

位置し、「兒子神」には兒子神社がある。「手代山」のテシロは「神の使いの意味」とする説(山形新聞社 2003)があるが、「出城」の可能性についても注意が必要か。「稻荷田」は稻荷神社の免田と思われる。「稻荷下1」の北側の山に稻荷神社があり、周囲には稻荷を冠する小字名が多い。寛永十五年(1638年)御検地羽付村には「柿在家」という在家地名が記されているが、「高山原4」の西側が砂塚字掛在家であることから、柿在家は掛在家と同じ在家を示すのではないかと思われる。沖郷村史には「稚兒神」の北方の山に位置する「安部沢」に「安部綱吉が梨郷片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部沢とも伝うが明らかでない」との伝承が記されている。



第11図 羽付の小字名

2. 梨郷地区

(1) 梨郷地区の概要と特色（第12図）

梨郷地区は、宮内扇状地の西辺に位置する。地区南部の砂塚地区では織機川の右岸の自然堤防が発達し、後背湿地を挟んでさらに北側にも大江川や織機川旧河道に沿うと思われる複数の古い自然堤防が北東から南西方向に延びている。梨郷地区の集落はこれら自然堤防上と山際の緩斜面地に立地している。砂塚地区付近では、地区名が示すとおり土地に花崗岩が風化した真砂土が多く混じる。吉野川流域の粘性の高い土壤とは異なる砂の多い土壤が特徴である。

梨郷地区の南端は織機川（別名：境川、沢入川、池川、池黒川）、西端は最上川（別名：松川）が境となる。地区西辺は最上川の蛇行によって入り組んだ複雑な地形になっていた。川に近い土地は洪沢氾濫地や荒地が多かったとみられ、草地や新しい開拓地が多い。

梨郷の地区名の由来は明らかではない。梨郷村史では地区名に関する論考を記しているが、そもそも昔は梨郷村を「根添村」、和田を「東根添」、竹原・梨郷を「西根添」、砂塚を「沖」と言ったとされるが根拠は不明としている。梨郷の山地に多くの城館が確認されていることを考えれば、この「根」という言葉は根小屋との関連も考えられる。

梨郷の地名は、大永五年（1525年）伊達宗安堵状では「下長井之庄林郷」「林郷かた岸」と「林郷」と表記されている。天文七年（1538年）御段銭古帳以降は「りんかう」と記されているものが多い。また、和田の護国山全城院に伝わる古文書では「梨江」の文字が見られるという。地名の漢字は当て字であることが多く、漢字には意味がない場合も多く、梨郷の「梨」も同様に当て字と思われる。あえて「林郷」の「林」という漢字の意をくめれば林が多い土の意かと思われるが、「隣郷」や「臨郷」など主たる郷の隣に位置する土地の意や、「臨江」のように大きな河に臨む地の意とも考えられる。「梨江」という事例もあり、地形的に見れば「臨江」の可能性が高いように思われる。地区の中心的な城郭の一つで、平時の居館とされる梨郷南館がまさに河に臨む位置にあったことも地区名が「臨江」に由来している可能性を示唆しているのかもしれない。

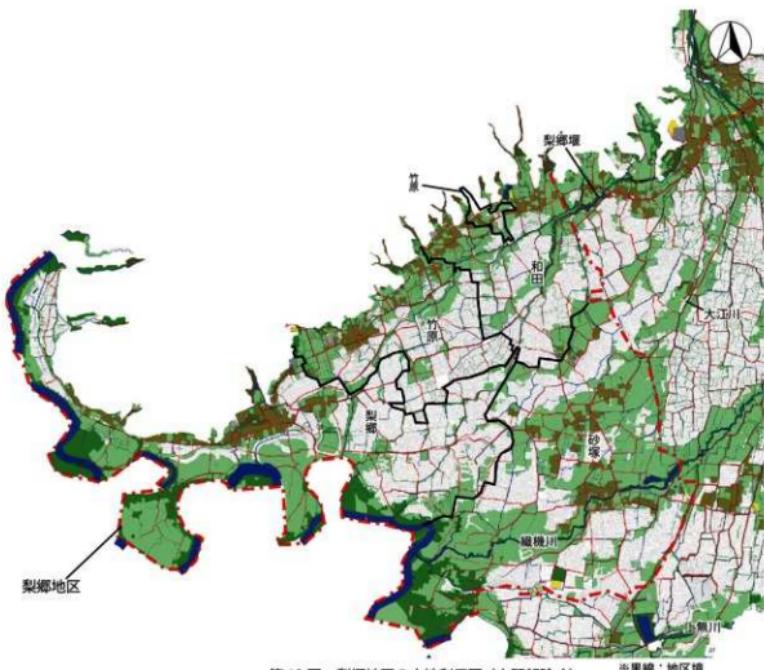
梨郷村史では、『寛永元年（1624年）から「梨郷」になったという説は考えられる』とし、梨郷という漢字表記は近世以降に統一的に使用されるようになったものと考えている。また、梨郷は下長井に属していたが、明治になって北条郷に編入となった。

(2) 梨郷地区の集落・屋敷・館等

梨郷地区の中世城館跡は、現在9ヶ所が遺跡となっており（表3）、山裾の緩傾斜地～山地に立地するものと平野部に立地するものがある。

中心的な城館として、梨郷には梨郷上館（館主：増田興隆・宗繁、『荒井大蔵、藤原持時』）や梨郷南館（館主：増田興隆・宗繁）、竹原には割田館（館主：湯村図書、『小関（関）兵庫之介』）、和田には片岸館（館主：『片岸右京』）があり、砂塚には島崎館（館主：島崎又右衛門行経）があったと伝わる（南陽市教育委員会1983、『』は実在が不明とされる人物）。また、砂塚には近世に安部屋舗と呼ばれる屋敷があった（米沢市立図書館蔵寛政九年絵図）。梨郷地区は他の地区に比べ館主に関する伝承が多く残る。

以下、土地利用図で見られる集落・屋敷・館等を記す（第13～16図）。



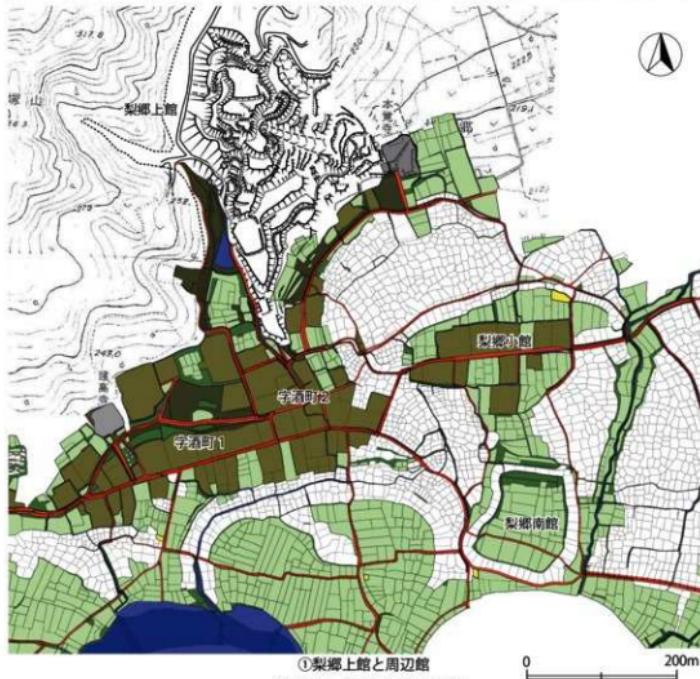
第12図 梨郷地区的土地利用図（山間部除く）

※本次調査は宮内扇地が調査対象のため、平野地区の土地利用図は作成していない。

遺跡名	概要
竜樹館跡	主郭は標高 376.6m、麓の龍雲院からの比高 151m である。県城館遺跡調査では龍の形に似るとし、龍の頭頂を主郭とし、頸に当たる部分を階段状腰曲輪で固め、口部には長さ 10m、高さ 1m の土塁を備えるとされる。城域は南北の長軸 300m、単軸 100m である。
梨郷上館跡	主郭は標高 309m、比高は 100m。城域は麓の根小屋から山頂主郭の奥腰手までの長軸が 500m、短軸は 200m の山城である。築城者は伊達家臣の畠田振津守興隆と伝わるが、室町時代中期に藤原朝臣持時、その子、升田津守の居館であったとも云う。
梨郷南館跡	最上川沿いに築かれた平城で園場整備で消滅した。形は円味を帯びた四角形で東西 85 ~ 110m、南北約 105m と広い。水堀で周囲を開いた土塁を築く。郭自体も高く土を盛り、洪水中に備えていた。天正十二年(1584 年)頃伊達家臣畠田振津守興隆・宗繁父子が吸坂城と云う。また、字安邊野の石橋裏に大永元年(1521 年)、此舟場安信ノ館専用と刻されているといふ。(市史編集資料第 14 号)が、安倍ノ館か南館を指すのか他に館があつたかは分からぬ。
梨郷小館跡	旧長井街道の道沿いで立地。標高 220m、周囲を開いた水堀で囲む平城である。形は東西 60m の長四角で内側に土塁を築き、道は南面に通じる。梨郷城とも云う。
割田館跡	館跡は園場整備で消滅した。標高 220m、平城で主郭は不整台形、周りを広い水堀、内側には土塁を築く。館主は大江氏の時代に小関(關)兵庫介、伊達氏の頃に湯村國書と伝える。(県城館遺跡調査では主郭部分のみを館跡と報告している)
赤松山館跡	館跡は和田字片岸から 500m 程の北の山中にある。主郭の標高は 390m、麓との比高 130m。城域は長軸 220m、單軸 80m、畦状縱堀を有する。片岸の旧家の文書に「嘉吉の変(1441 年)で足利義教を説いた赤松溝祐の子一人教康が住みつけられた」と記される。
梨郷新館跡	片岸館の南に位置し、標高 230m。園場整備で遺構はほぼ消滅した。幅 5m ~ 12m の堀と土塁で固めていた。館主について梨郷村史では「当地長井時代に片岸右京がおながが確認」とある。(県城館遺跡調査では字新館の北端のみを館跡と報告している)
片岸館跡	館は標高 240m。形は東西にのびた四角形で、長軸 105m、單軸 75m ある。梨郷村史に「当地長井時代(1115 ~ 1380 年)地頭大江時広の片岸右京が館を築く」と記す。また、沖郷村史では「安部馬右助の先祖が租田の片岸を経て宮内に移ったと云う」と記す。
電山館跡	主郭は標高 296 m、麓からの比高は 56 m である。和田字電山に所在する。尾根端に子安観音堂があり、その裏山に曲輪群がある。長軸 185 m、短軸 120 m の山城である。

表3 梨郷の城館遺跡

- ①梨郷上館は、梨郷字上館に位置する山城である。梨郷小館、梨郷南館と関連が深いとされ、明治期の土地利用図からもその様相の一端がうかがえる。城下の位置に町（字酒町）が形成されている。梨郷南館は梨郷字館廻に位置し、南館の東に字本館の小字名が残る。地名は移動したり広範囲の呼称の一部が残ったりすることから、本館とは梨郷南館そのものを指すと推測される。圃場整備で消滅する前は主郭は高台となっており周囲を囲む堀跡が水田となって残っていた。館の南や西には最上川の蛇行部や旧河道の跡が見られる。梨郷小館は梨郷南館の北に接し、梨郷字桐町・字桐町前に位置する。北辺の堀跡が水田となって残る。梨郷南館の根小屋に相当する屋敷があったものか。
- ②割田館は、土平川による小扇状地の扇端付近の微高地に立地する。現在は耕地整理で失われたが、字限図が作られた当時は主郭を囲む堀跡が水田と畑地になって残存していた。二の曲輪に相当する主郭北側（字酒町2）にも同様の堀跡がみられ、北西角付近にはその痕跡が明瞭に残っていた。主郭東方では人為的な地割が不明瞭になるが、宝暦七年（1757年）の大洪水で土平川も氾濫、山抜け泥押しし、現梨郷小学校の敷地はこの時流入した堆積土と云ふと梨郷村史にあり、この災害が大きく作用していると思われる。
- ③梨郷新館は梨郷字新館（字貳反田）に位置する。県城館遺跡調査では字新館の北端のみを館跡とする。周辺をみると西側に大堀状の痕跡が水田として残ることから範囲は字貳反田まで広がる可能性もあるが、その東側（字新館の南半部）の地割は曖昧である。





第14図 梨郷の屋敷や館跡2

④和田字古屋鋪、竹原字中屋敷は、竈山館の南山麓に位置する。明治の字限図では字古屋鋪だが、現在は字元屋敷と表記する。明治期には古屋鋪、中屋敷ともに主に畠地になっている。館に関連した屋敷があったものか。竈山館の伝承もなく不明である。なお、中屋敷は昭和十六年（1941年）に竹原から和田に編入になっている。

⑤片岸館は、山城である赤松山館南西の山麓、和田字片岸に位置する。山際に長方形形状の主郭を置き、背面に深い堀を有する。西に堤があり、南側は集落地となっている。

⑥和田字宿^{しゆく}之東付近は、竈山館南西の緩斜面地である。古道沿いに屋敷が見られる。梨郷から羽付に至る道路が「上道」、全城院前を通る古道が「忍道」である。忍道はかつては梨郷平野から羽付まで続いていたと言われ、梨郷村史の旧道図にも記されている。

⑦竹原字下タ町・天王前は、竜樹山館の南東に位置し、集落の西にある龍雲院付近が竜樹山館への登城口となる。字圓行寺は龍雲院以前にあった寺に由来する。近くの山際には、嘉暦二年大日板碑等の板碑、牛頭天王社や白山神社などの社があり、付近にはこれらに由来する小字名も多い。

⑧砂塚字塩竈付近は古い自然堤防が広がっており、集落が散在している。砂塚では地区の中心となるような城館跡は未確認であるが、字安部に水路等に囲まれた方形区画が見られ、寛政九年の絵図では「安部屋鋪」と記されている。

⑨砂塚字西川前・東川前付近は、織機川の両岸に発達した自然堤防上に集落が立地し、字古屋敷の小字名が残る。この付近で織機川は直角に近い角度で河道の向きを幾度も変えている。条里制等、何らかの人為的な影響を受けている可能性もあるうか。

⑩砂塚字下西郡は、織機川と最上川の合流地点付近に広がる自然堤防上に位置する。東西方向に長い長方形の畠地の周囲を掘跡状の水田が囲む。館跡や屋敷跡のような区画になっているが、字名は梨郷字上西郡とともに郡衙に関連した地名とも考えられる。郡衙関連施設が河川近くに立地する例は多く、郡庁等の郡衙（沖郷地区の郡山遺跡群付近）から見て西にあたる場所の郡衙関連施設の所在地という可能性もあるうか。なお、字下西郡から東に向うと中落合館跡等の郡山郡衙推定域があり、字下西郡の区画は沖郷条里制を延長した場合の坪区画にも概ね一致する。また、字五把野から字上西郡付近には島畠状の畠地が分布しており、人工的な地割が多く見られる。字上西郡の西側に字船守、字大河がある等、周辺環境からは水運に関連するような遺跡があつても不自然ではない。



④和田字古屋鋪・竹原字中屋敷



⑤片岸館

第15図 梨郷の屋敷や館跡3



⑥和田字宿之東等



⑦竹原字下多目・天王前



⑧砂塙字塙竈付近



⑨砂塙字西川前・東川前

⑩梨郷字上西郡・砂塙字下西郡

(3) 明治期の土地利用図 (梨郷)

① 梨郷

梨郷の平地部は、宮内扇状地西側の扇端にあたり、その東半は水田地帯で、西半は経塚山と最上川に挟まれた緩斜面が山裾を巡る。最上川の旧河道（蛇行部）は、「長洲賀淵」、「上沼向・小豆田・酒町南・中巻1・中寫」、「中巻2・岡野・中巻1」、「中寫」、「古川」、「館廻」南側、「岡野下」南側に見られる。「安邊野」は人名或は湿地地名、「町田河原」は川原、「階」は河岸段丘、「押切」は洪水地名。「船守」、「大河」は梨郷堰の河道に由来か。「巻」は城館に伴う牧もあるが、川が巻く（蛇行する）の意味であろうか。

「宮城」は和名類聚抄に記された古代置賜郡の郷の一つ、宮城郷に由来するとされる。「上西郡」は郡衙関連地名で、「六丁目」は条里関連地名か。歴史的に地区の中心的な館の一つである梨郷南館は、激しく蛇行する最上川の川べり（「館廻」「本館」）に立地している。また、「安邊野」にあった石橋の裏には「此舟場安倍ノ館専用」「大永元辛巳稔十月」と刻されていたという（南陽市教育委員



会 1985)。安倍ノ館が南館を指すのかどうかはわかっていない。

在家地名として、大永五年（1525年）伊達稙宗安堵状には「朽木林在家」、天文二十二年（1553年）伊達晴宗公采地下賜録には「上の在け」（梨郷字上町付近か）、「なしのき在け」、「まき野在け」、「かう六在け」、「なかの在け」（砂塚字中野裏付近か）、「下の在け」（竹原字下夕町付近か）、「まちの在け」、「うりはた在け」が記されている。

「上・下加津木沢」は、天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状で宗成（増田宗繁か）が本覚寺に寄進した田地の一つと考えられ、小字名はガツギという沼地の植物に由来するかあるいは開基の祭りをするための米をとる開基田に由来する可能性もある（安彦1978）。

「桐町」は中世の商業地に関する地名である。「良津々田」は中世の莊園領主や莊官、地頭らによる直営田を表わす佃に關係するものか。

「壇」地名は近世墓地である。「庚申檀」は庚申塔に由来すると思われる。「落付場」は芋を水に漬けておく芋漬場、「入生田」は用水管理のための共同水田である「井料田」のことか。



第18図 梨郷の小字名



たかわら
②竹原

北側の山裾に集落が立地し、南に水田地帯が広がる。「千苅田」「割田」付近に方形地割が残る。沖縄条里制とは向きが異なるが条里制に関連する地割の可能性もある。同様の方形地割は梨郷堰以西に見られる。「宮城1～4」は、和名類聚抄に記された古代置賜郡の郷の一つ、宮城郷に由来するとされる。地区の中央（「割田」「酒町2」等）に割田館が位置する。「酒町1」や「相ノ町」は明治期には既に集落は無いが、割田館に関連した集落があった可能性があろうか。竹原という地名の由来は不明だが、「館」が「竹」に転化する事例は多く知られており、「館原」が「竹原」に転化した可能性は考えられる。

竹原地区は寺社に由来する地名も多い。「光山寺」は稲荷山光山寺（全城院）のあった所と云い、「圓行寺」は龍雲院以前にあった寺である。「天王前」は牛頭天王社に由来し、社の前には天王寺という寺があったとも云う。「白山田」は白山神社の免租地と思



第19図 土地利用図 竹原

われる。「稻荷林」「稻荷前」「八幡神社」もそれぞれ神社に由来する。「石仏」は土平からの用水事業に失敗して自刃した上杉藩の家臣を弔った地と伝わるが、元々は現在梨郷小学校前に建つ南北朝頃の板碑に由来するものか。「七間地」には「治兵衛塙の東車塙塔婆」とも呼ばれた正元元年大日板碑（1259年）があったが、明治四年に「光山寺2」に移転されている。なお、市史編集資料第17号の嘉永三年（1850年）の竹原・七間地の絵図では「七間地2」南端付近の道沿いに板碑と思わせる石碑が1基描かれている。

「竈ヶ入」には窯があったか、或は竈に似た地形が由来と思われる。「法界檀」は近世墓地を示す地名である。

「上・下加津木沢」は梨郷にも見られる小字名で、天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状で宗成（増田宗繁か）が本覚寺に寄進した田地の一つと考えられる。小字名はガツギという沼地の植物に由来するとも思われるが、開基の祭りをするための米をとる開基田に由来する可能性もある（安彦 1978）。

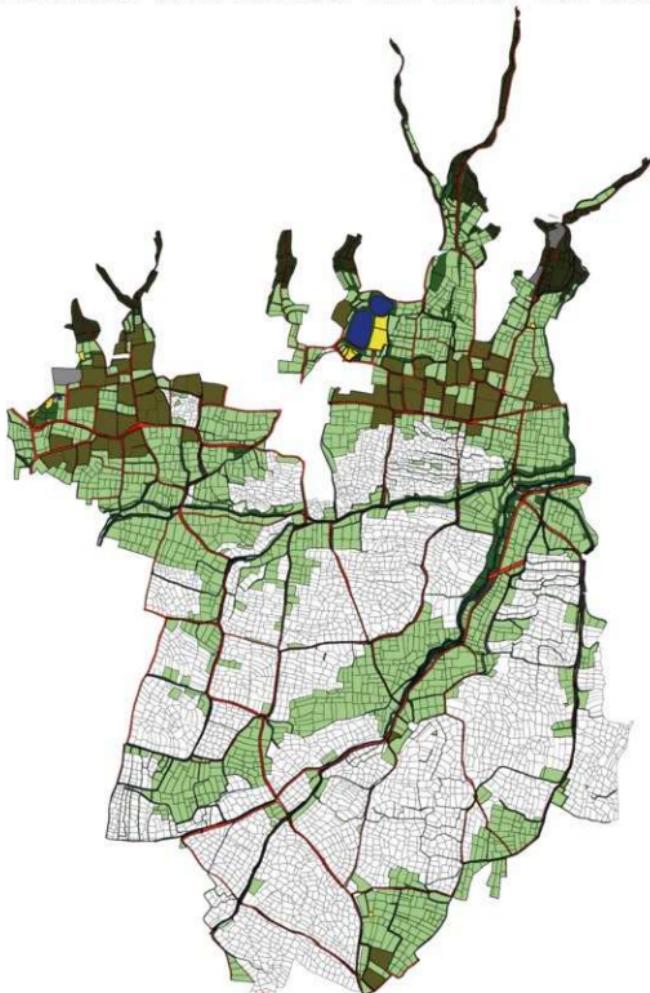


第20図 竹原の小字名

③和田

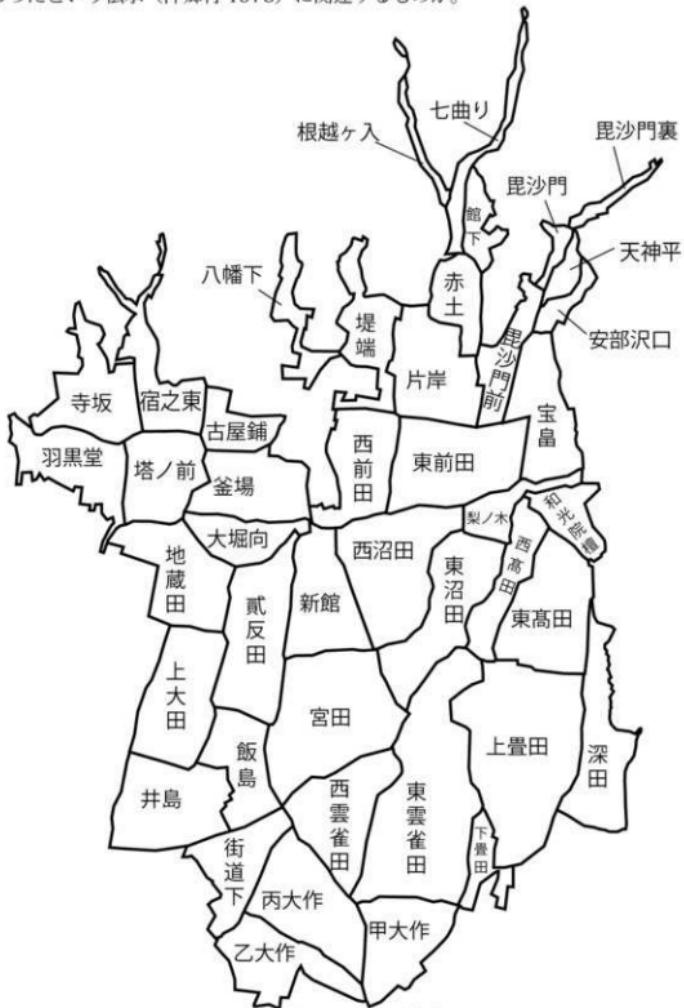
北の山裾に集落が立地し、その南に水田地帯が広がる。水田の中を二つに分岐した梨郷堰が流れ、その両岸に自然堤防が広がる。地元では分岐後に西流する堰をワエイ、南西流する堰をカエイと称すると言う。

和田の由来は不明だが、「ワタ」は山麓や河のカーブした地形で、山麓の水の湧く所を示す。梨郷堰が南に折れる地形等に由来か。「貳反田」「上大田」付近に方形区画がみられ、条里制に関連する地割の可能性もある。「片岸」に片岸館、「新館」付近に梨郷新



第21図 土地利用図 和田

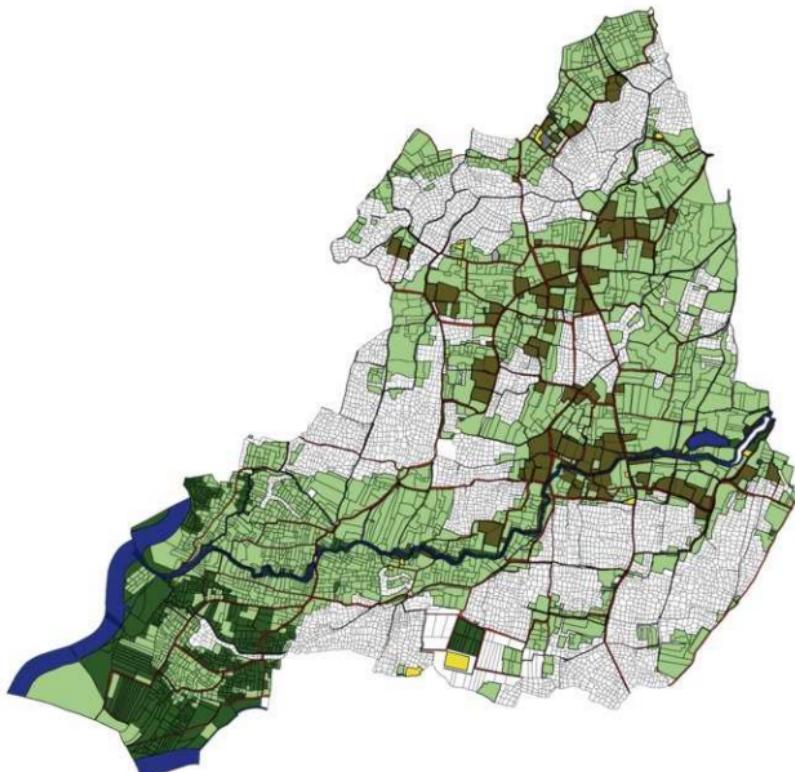
館、山中に赤松山館、竈山館が立地する。「七曲り」「館下」は赤松山館に由来し、「根越ヶ入」はその根小屋に関連する小字名か。「八幡下」は宮浦八幡神社があった地の西にあたる。「毘沙門」には毘沙門堂があった。「和光院檀」はかつて天王寺と呼ばれた羽黒修験法印に由来し、檀は近世墓地に由来すると思われる。「宝畠」は「たたら畠」の意と思われ、「釜場」や「赤土」等からも付近に何らかの生産遺跡がある可能性がある。「宮田」「地蔵田」は神社や地蔵講に対する免租地であろう。「安部沢口」は安部綱吉が片岸を経て宮内へ移ったという伝承（沖郷村 1973）に関連するものか。



第22図 和田の小字名

④砂塚

砂塚地区は宮内扇状地の西に位置し地区西南には最上川が流れる。地区の中央を織機川が東から西へ横断し、その両岸に広く自然堤防が発達している。その右岸のさらに北側にも古い自然堤防が東西に延びている。集落はこの古い自然堤防上と織機川の自然堤防上に立地している。この織機川が運んできた真砂土を多く含む土が堆積してきた自然堤防の様子が砂塚という地区名の由来になったものと思われる。最上川と織機川との合流地点の南に河川氾濫地名が多く残る。「押切」は川岸が削られた堤防決壊地名であり、「志田」は荒地、「獅子原」は湿地・土砂崩れ地を示す。「入沼」は蛇行部の短絡地点、「江湖」は三日月湖である。織機川沿いでは「川内」が大雨時の浸水地名である。また、旧河道を示す地名の「江中」「深田」「腰巻田」が古い河川の流路を示している。「鎌研」のカマは鎌のように抉られた地名を示す。地区西辺に「鼠田」と付く小字が多く集まっている。ネズミ地名には、河川の氾濫を警戒して「寝ずに見守った地」「寝ず田」という事例もある。天正十五年（1587年）の増田宗成寺領寄進状では「ねすた」と記され



第23図 土地利用図 砂塚

ている。

にしごおり

「下西郡」は梨郷地区の「上西郡」と共に郡衙関連地名と思われる。「掛在家」は在宅地名である。天文二十二年(1553年)伊達晴宗公采地下賜録の「なかの在け」は「中野」付近にあったものか。砂塚地区では中世城館址は見つかっていないが、市史編集資料第10号では「砂塚原(字'南原')」に伊達家臣の島崎士佐守又右衛門行経が永禄三年(1560年)に島崎館を構え住むとの伝承を紹介している。「古屋敷」や方形地割の見られる「安部」付近にも屋敷や館跡があった可能性があり、「安部」には少なくとも近世には安部屋舗と呼ばれる屋敷があったことがわかる(米沢市立図書館蔵 宽政九年絵図)。

「若宮」には伊達時代に浄土宗の九品堂了西庵という寺があったという。「塩竈」は塩釜神社があったことに由来し、「權現堂」「權現前」や「宮之堂」「宮之前」も社に関係する。「落付場」は学瀆場で、学を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に漬けておく場所だったと思われる。「江上」は寛文二年（1662年）頃に開拓され、東覚院（後に長井市に移転）があったとされる（南陽市教育委員会1983）。



第24図 砂塚の小字名

第3章 南陽市（漆山・梨郷・大塚）の小字名及び地名

市内各地区の小字名、地名を地区別に記録する。その出典の凡例は表4のとおりである。
なお、これによらない場合は文献名を直接記載した。また古文書に見られる在地は、地名として残っていないものを字名・地名欄に（）で示した。

年	文献名	記号
1525	伊達稙宗安堵状（大永五年）	A
1538	鍋田郷土史（21頁 天文七年御段鉄古帳）	B
1553	伊達晴宗公采地下賜録（天文二十二年）	C
1585	天正十三年北条段残帳	D
1638	寛永十五御検地帳羽付村	E
1638	寛永十五年漆山村之内木之沢須刈田御検地帳	F
1638	寛永拾五年北條之内漆山村御検地帳	G
1638	寛永十五年北條之内萩村御検地帳	H
1638	寛永十五年北條之内赤湯村御検地帳	I
1638	寛永十五年祖柳村検地帳	J
1639	萩生田村寛永拾六年水帳之事	K
1639	寛永十六年祖柳村検地帳（山形県史資料編9）	L
1656	明暦二年御狩場之図	Lb
1739	元文四年温泉記（市史編集資料 26号 P.34）	M
1767	明和四年北條之内長瀬村御検地帳	N
1781	鍋田郷土史（17・18頁 天明元年）	O
1786	天明六年文書	P
1790	寛政二年鹽入石中山之在釜渡高帳	Q
1791	寛政三年赤湯村本地開改水帳	R
1794	寛政六年松沢村本地開改水帳	S
1824	文政七年金沢村本地開田畑水帳	T
1824	文政七年菅野改革水帳（赤湯町史 268頁）	U
1830	文政十三年田柵売買并当代下書留扣帳	Ub
1843	天保十四年新田村漆反別名寄帳	V
1849	嘉永二年赤湯村本地開改水帳	W
1858	安永五年羽付村田畑名寄帳	Wb
	永代壳渡申田畑證文之事	X
	御林集（日本林制史資料：赤湯町史 345-346頁）	Y
	温泉記（市史資料集 26号 49頁）	Z
1874	明治七年地租改正 地価帳 土地台帳写（鍋田邑）	aa
1874～1893	明治七、八、二十六年字限図	ab
1876	明治九年新開割帳（赤湯町史 360頁）	ac
1938	東置鶴郡史（昭和13・14年）	ad
1938	山形県地名録（昭和13年）	ae
1968	赤湯町史（昭和43年）	af
1973	沖郷村史（昭和48年）	ag
1979	梨郷村史（昭和54年）	ah
1981	角川日本地名大辞典（昭和56年）	ai
	南陽市地名索引（安達）	aj
1990	南陽市史（平成2年）	ak
2010	南陽市島貫の歴史（平成22年）	al
2013	平成25年税台帳	am

表4 小字名・地名の出典

1. 漆山（1）漆山の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
漆山			ウシヤマ	ae,ai	
1	漆山	打越 (G: 打こし)	ウカシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	新山の西方。地滑り地名
2	漆山	大仏	オボウトク	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	文和三年阿弥陀板碑
3	漆山	大仏東	オボウトクヒガシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	大仏の東
4	漆山	河原	カワラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸の川原
5	漆山	上達	カミダテ	F,G,ab,ad,ae,ai,ak,am	上駄か。西に大滝沢館、川に向いて池黒館山腹あり
6	漆山	上横打	カミヨコチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヲ: 河川で土地が削れる
7	漆山	下横打	シヨコチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	"
8	漆山	北目	キタメ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道との分岐先端。北の免租地か
9	漆山	五合田	ゴゴウタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東寺町の西、西寺町の北
10	漆山	小林	コボヤシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	ハツ: 渓水が早くなる所
11	漆山	曾利橋 (G: そりはし)	ソリヅ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸自然堤防と後背湿地
12	漆山	大根在家 (G: 大こん才け、ダイコンザケ)	タケニシ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	大根在家
13	漆山	塚原	ツカハラ (ai,am: タカラハラ)	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	塚: 古墳の可能性
14	漆山	天王 (ab: 天皇)	テンオー (am: テンノク)	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	牛頭天王社に由来。発掘調査で屋敷跡と古墳群を確認
15	漆山	中道	ナカミ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北。織機川右岸微高地
16	漆山	西田中	ニシタカ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道の分岐地含む低地
17	漆山	東田中	ヒガシタカ	G,ab,ai,ak,am	旧河道西岸、微高地有
18	漆山	新山	ニヤマ (ai,am: ニヤマ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	漆山館。「二井山」と記す絵図もある
19	漆山	(新山在家)	ニヤマザケ	D	新山在家
20	漆山	東高堰	ヒガシタカゼ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道東の自然堤防、道路の東
21	漆山	西高堰	ニシタカゼ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道東の自然堤防、道路の西。高堰があった
22	漆山	高堰	タカゼ	G	
23	漆山	西寺町	ニシテラマチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸。三塙寺があった
24	漆山	東寺町	ヒガシテラマチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	畠川右岸。沼澤地・自然堤防。三塙寺があった
25	漆山	寺町	テラマチ	G	三塙寺があった所
26	漆山	東屋敷	ヒガシヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
27	漆山	西屋敷	ニシヤシキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	集落
28	漆山	広面	ヒロモテ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	ヒロ: 土地が低く河川氾濫のあった所。ヲ: 免税地
29	漆山	深ヶ沢	フカツ	ad,ae,ai,ak,am	上達・四ツ谷の西の山
30	漆山	古館 (G: 古達)	フルテ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	漆山館
31	漆山	細田	スリタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	河間低地。旧水路跡の細田有り
32	漆山	谷地中	ヤドカ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	湿地
33	漆山	柳田	ヤギタ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	東屋敷の西。ヤギ: 斜面。ギ: 所。又は田の形状が柳に似ている、柳の木に由来など
34	漆山	雪ヶ沢	ユカツ	ad,ae,ai,ak,am	四ツ谷の西。ヨ: 岩、崖地
35	漆山	四ツ谷 (G: 四や)	ヨツガ	G,ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川が谷から出る地点
36	漆山	浅見沢	アシミツ	ad,ae,ai,ak,am	ヲ: 字崩れ地。山水が湧く湿地
37	漆山	一ノ滝	イツツバタ	ad,ae,ai,ak,am	立石の北
38	漆山	三ノ滝	サンツバタ	ad,ae,ai,ak,am	大走の北
39	漆山	岩清水	イワミズ	ad,ae,ai,ak,am	東大沢二の南。織機川
40	漆山	大石沢	オオイツバタ	F,ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢口の東
41	漆山	小石沢	コイツバタ	ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢口の東

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
42	塗山	大掛	オカヒ	ad,ae,ai,ak,am	卦:山崩れ、崖地
43	塗山	大雀	オカス	ad,ae,ai,ak,am	雀:雀地
44	塗山	大沢	オカツ	ad,ae,ai,ak,am	柴沢口～七曲の西
45	塗山	東大沢	ヒガ オカツ	ad,ae,ai,ak,am	中沢口～七曲の北
46	塗山	大平	オカヒラ	ad,ae,ai,ak,am	セラ:山崩れの起き易い所
47	塗山	大鷹	オカタカ	ad,ae,ai,ak,am	大鷹山則連
48	塗山	大滝沢	オカタツ	ad,ae,ai,ak,am	滝は鶴の転化の可能性あり。採土場
49	塗山	大滝沢口	オカタツワケチ	ad,ae,ai,ak,am	里見坂の北。織機川
50	塗山	大峰	オカウカ	F.ad,ae,ai,ak,am	見沢の西。上伊佐沢への道有り
51	塗山	大峰前	オカウカマエ	ad,ae,ai,ak,am	
52	塗山	大走	オカハシリ	ad,ae,ai,ak,am	一の瀧の北。上松ヶ沢の東
53	塗山	大烟	オカシタ	ad,ae,ai,ak,am	七曲の北。織機川
54	塗山	大葉柳	オカヤナギ (ai: オカナギ) オカヤナギ (ai: オカナギダギ)	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢への道沿い。ヤギ:斜面地
55	塗山	閑ノ下 (ai: 閑下)	セヨク	ad,ai,ak,am	
56	塗山	鎌ヶ沢 (F: 篠ヶ沢)	カマガサワ	F.ad,ae,ai,ak,am	唐保の北東
57	塗山	上柴沢	カシバザワ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ渓口東の西。広い谷、小須刈田に続く道あり
58	塗山	上立石	カミタケイ	ad,ae,ai,ak,am	隣地に字館石。これらも関連地名か
59	塗山	立石	タケイ	ad,ai,ak,am	
60	塗山	唐保	カホ	ad,ae,ai,ak,am	見沢の北。織機川
61	塗山	橋沢 (ai: 橋ヶ沢)	キヅラ (ai,am: キツカサワ) (ai,am: キツカサワアリ)	ad,ae,ai,ak,am	下田の北東。キツカサ:地崩れ地形
62	塗山	木戸場	キドノ	ad,ae,ai,ak,am	大滝沢口の北。織機川
63	塗山	木桶沢	キヤラワ (ai: キカリサワ、am: キカラワ)	ad,ae,ai,ak,am	大沢三の中
64	塗山	調法沢	チヨウカサワ (ae,af: キヨウカサワ、ai: チヨカキサワ、am: チヨオサワアリ)	ad,ae,ai,ak,am	貞白森の北東。矢ノ沢への道沿い
65	塗山	熊ヶ沢	クマガサワ	ad,ae,ai,ak,am	熊ヶ沢口の西
66	塗山	熊ヶ沢口	クマガサワチ	ad,ae,ai,ak,am	後藤名出の北。織機川
67	塗山	後藤名出 (F: 後藤なで)	コトケナデ	F.ad,ae,ai,ak,am	山の神の北。織機川
68	塗山	小仏沢	コモトカワ	ad,ae,ai,ak,am	山ノ神の北の山
69	塗山	駒ヶ沢 (F: こまか沢)	コマガサワ	F.ad,ae,ai,ak,am	備後館の西。館関連か
70	塗山	後連畑	ゴレバタ (am: ゴレバタ)	ad,ae,ak,am	石清水の西。織機川
71	塗山	笛子平	ササゴタケ	ad,ae,ai,ak,am	笛子平遺跡
72	塗山	里見坂	リミカ	ad,ae,ai,ak,am	雪ヶ沢の東。織機川
73	塗山	三本谷	サンボン	ad,ae,ai,ak,am	
74	塗山	鴨ヶ岡 (ai: 鴨岡)	ジガカガ (ai: カモカ)	ad,ae,ai,ak,am	熊ヶ沢口の北。津:刺ぐ。地滑り地名
75	塗山	上鴨ヶ岡	カミジガガカ	ad,ae,ai,ak,am	
76	塗山	柴沢口	シバサワチ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ渓口東の北西
77	塗山	下小沢	シモコサワリ	ad,ae,ai,ak,am	駒ヶ沢の北
78	塗山	下田	シモダ	F.ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢の北。織機川
79	塗山	下平田	シモヒタ	ad,ae,ai,ak,am	下田の西
80	塗山	菖蒲沢	シロアリ	ad,ae,ai,ak,am	唐保の西
81	塗山	東須刈田	ヒガシカガリダ	ad,ae,ai,ak,am	須刈田の東
82	塗山	西須刈田	ニシカガリダ	ad,ae,ai,ak,am	須刈田の西
83	塗山	南須刈田	ミナミカガリダ	ad,ae,ai,ak,am	東須刈田の南
84	塗山	北須刈田	キタカガリダ	ad,ae,ai,ak,am	備後館～下田の西
85	塗山	須茹田 (F: すかり田)	スガリダ	F.ei,am	須刈田前の南
86	塗山	小須刈田 (F: 小すかり田)	コスガリダ	F.ad,ae,ai,ak,am	南須刈田の南
87	塗山	須刈田前	スガリダマエ	ad,ae,ai,ak,am	駒ヶ沢の南西
88	塗山	東館岩 (F: 東立岩)	ヒガシカンイ	F.ad,ae,ai,ak,am	城館地名か、自然の立岩か
89	塗山	中館岩 (F: 中立岩)	ナカカンイ	F.ad,ae,ai,ak,am	
90	塗山	西館岩 (F: 西立岩)	ニシカンイ	F.G.ad,ae,ai,ak,am	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
91	漆山	館岩	ケイイ	F,ae,ai,am	城館地名か立岩か
92	漆山	館ヶ沢	ケイガワ	ad,ae,ai,ak,am	羽付境。深沢の西。新山の後方の山。城館地名
93	漆山	地蔵前	ジザウマエ	ad,ae,ai,ak,am	葛蒲沢の北
94	漆山	造道 (あ: つくりみち)	ツヅミチ	ad,ae,ai,ak,am	
95	漆山	手白森	テシモリ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢への道沿い。池黒の貞白森の東。テシロ: 神の使いの棲む森と云う
96	漆山	手白森山 (あ: 手白山)	テシモリヤマ	ad,ae,ai,ak,am	
97	漆山	寺刈場下	テカハシシタ	ad,ae,ai,ak,am	
98	漆山	寺刈林下	テカハシヤシタ	ad,ae,ai,ak,am	
99	漆山	鮭沢	シジヨウサワ	ad,ae,ai,ak,am	池黒字鮭沢への飛び地
100	漆山	中沢口	チザワゲチ	ad,ae,ai,ak,am	柴沢町の北西。織機川
101	漆山	中沢	チザワ	ai	
102	漆山	長畠	チガハタ	ad,ae,ai,ak,am	
103	漆山	七曲り	ナナガタリ	ad,ae,ai,ak,am	後連烟の北。織機川
104	漆山	仁田	ニタ (あ: ニタ)	ad,ae,ai,ak,am	ニタ: 山水の染み出る所
105	漆山	仁田尻	ニタタリ	ad,ae,ai,ak,am	
106	漆山	沼平	ヌマグリ	ad,ae,ai,ak,am	
107	漆山	備後館 (F: 備後立)	ビンゴダテ	F,ad,ae,ai,ak,am	備後館。須刈田との分かれ道
108	漆山	備後館下	ビンゴダテモ	ad,ae,ai,ak,am	大畠の北。織機川。備後館の南
109	漆山	二タ又	ニタタ	ad,ak	ニタ: 山水の染み出る所
110	漆山	北沢	キタワ	ad,ak	
111	漆山	南沢	ミタワ	ad,ak	
112	漆山	二又北沢	ニタキタワ	ad,ai,am	後連烟の西
113	漆山	二又南沢	ニタミタワ	ad,ai,am	"
114	漆山	稗田	ハセタ (ai,am: ハセ)	G,ad,ae,ai,ak,am	
115	漆山	東稗田	ヒガハセタ	ai	
116	漆山	上松ヶ沢	カミマガワ	ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢~見沢の東
117	漆山	下松ヶ沢	シマガワ	ad,ae,ai,ak,am	大畠~松ヶ沢口の東
118	漆山	松ヶ沢 (F: まつか沢)	マガワ	F,ad,ae,ai,ak,am	松ヶ沢口の北東
119	漆山	松ヶ沢口	マガワゲチ	ad,ae,ai,ak,am	備後館の北。織機川
120	漆山	見沢	ミタワ	ad,ae,ai,ak,am	下田の北。織機川
121	漆山	水上	ミズカミ	F,ad,ae,ai,ak,am	須刈田の東。東須刈田の中
122	漆山	水無	ミズナシ	ad,ae,ai,ak,am	池黒字水無への飛び地
123	漆山	東至ノ沢	ヒガシモクタワ	ad,ae,ai,ak,am	唐保~館岩の東
124	漆山	西至ノ沢	ニシモクタワ	ad,ae,ai,ak,am	館岩の西
125	漆山	至ノ沢	モクタワ	ad,ai,am	地蔵前の北
126	漆山	本左沢	モトアツラ (ai: モトサツ, ri: モトアツラ, am: モトアツラ)	ad,ae,ai,ak,am	山の神南の北の山。アツ: 洪水の危険性のある川
127	漆山	焼ノ下	ヤクシタ	ad,ae,ai,ak,am	野焼関連か
128	漆山	焼ノ平	ヤクシタ行 (ai: ヤキシタタリ)	ad,ae,ai,ak,am	"
129	漆山	焼ノ平下	ヤクシタ行モ	ad,ae,ai,ak,am	"
130	漆山	屋敷沢	ヤシキワ	ad,ae,ai,ak,am	調法沢の北東。矢ノ沢への道沿い
131	漆山	屋敷沢口	ヤシキワゲチ	am	屋敷沢の北東。矢ノ沢への道沿い
132	漆山	屋敷浦	ヤシキウラ	G,am	屋敷の裏
133	漆山	南矢ノ沢	ミナミヤワ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢の西
134	漆山	北矢ノ沢	キタヤワ	ad,ae,ai,ak,am	
135	漆山	矢ノ沢	ヤワ	F,ad,ai,am	元集落地
136	漆山	矢ノ沢口東	ヤワワケルモガシ	ad,ae,ai,ak,am	矢ノ沢口東の北。織機川
137	漆山	矢ノ沢口西	ヤワワケルモニシ	ad,ae,ai,ak,am	鶴ヶ岡の北。織機川
138	漆山	山ノ神	ヤマカミ	ad,ae,ai,ak,am	山ノ神
139	漆山	山ノ神南	ヤマカミミミ	ad,ae,ai,ak,am	譲沢口の北。織機川

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
140	漆山	譲沢	ヨグ"リザ" (ae: ヨグ"リサ"、am: ヨグ"リザ"リ)	ad,ae,ai,ak,am	譲沢の北の沢
141	漆山	譲沢口 (ae: 譲澤)	ヨグ"リサ"ガチ (ai: ヨグ"リサ"ガチ)	ae,ai,am	木戸場の北。織機川
142	漆山	四ツ坪	ヨツボ	ad,ae,ai,ak,am	壺のような地形か
143	漆山	前田	マエタ	F,ab,ai,am	旧水路跡の細田あり
144	漆山	備後塚	ヒンゴ"ダカ	G,ab,ai,am	備後三郎の首塚と伝える。中世墓地、曲物片、一字一石經出土
145	漆山	向入	ムカイル	ai,am	
146	漆山	館石	タケイ	am	城館地名か
147	漆山	早坂	ハヤカ	ai,am	
148	漆山	李沢	スモモサ"ワ" (ai: シモモサ"ワ")	ai,am	スモモ: 地滑りで窄められた地
149	漆山	赤坂	アカカ	am	
150	漆山	岩倉	イワカラ	ai	岩倉神社
151	漆山	蛇見沢	ハビ"ミツワ"	ai	蛇: 土石流地名
152	漆山	藤面沢	トウモンサワ	ai	
153	漆山	大乱	オオラン	ai	災害地名
154	漆山	割沢	ワリサワ	ai	
155	漆山	評判平	ヒョウバンタヒ	ai	
156	漆山	闇ノ下	ガタシタ	ac,ai	崖地名
157	漆山	苗代	ナワシ	F	
158	漆山	とうの前	トウノマエ	F,G	堂の前
159	漆山	平兵衛作り	ハイ"エイ"クリ	F	人名
160	漆山	屋敷の上	ヤシキ"ウエ	F	
161	漆山	屋敷の入	ヤシキ"イリ	F	
162	漆山	かミ	カミ	F	
163	漆山	小沢	コザ"ワ"	F	
164	漆山	むかい	ムカイ	F	
165	漆山	しつの上	シリフク	F,G	清水ノ上か
166	漆山	勘五郎作	カンゴ"ロウザ"クリ	F	人名
167	漆山	たての下	タテシタ	F	館の下
168	漆山	達の下	タツシタ	F	館の下や滝の下か
169	漆山	達の内	タツシチ	F	館の内や滝の内か
170	漆山	内達	ウチダ"テ	F,G	内館か
171	漆山	こや立	コヤダ"テ	F	小屋館（城館地名）か
172	漆山	八三作	ハサンザ"クリ?	F	人名
173	漆山	作三作	ササンザ"クリ	F	人名
174	漆山	作藏作	ササンザ"クリ	F	人名
175	漆山	作助作り	ササシザ"クリ	F	人名
176	漆山	のゝ田	ノタ	F	
177	漆山	くりの木下	クリノキタ	F	
178	漆山	くりの木ふん	クリノキン	F,G	
179	漆山	くりの木た	クリノキタ	G	
180	漆山	栗分	クリワカ	G	
181	漆山	栗た（くりた）	クリタ	G	
182	漆山	七郎左門	シヨウザ"エモン	F	人名
183	漆山	大ふけ	オオフク	F	カ: 濡地、沼だった所
184	漆山	下（しも）	シモ	F	
185	漆山	きつか沢	キツカサ"ワ"	F	
186	漆山	清三郎作	セサンザ"クリ	F	人名
187	漆山	八沢	ヤツザ"ワ"	F	
188	漆山	下李沢	シモクノサワ	F	
189	漆山	坂の内	サカノウチ	F	
190	漆山	こまいた沢	コマタサ"ワ"	F	
191	漆山	二股沢	ツタサ"ワ"	F	
192	漆山	しば沢	シバ"サワ"	F	柴沢
193	漆山	与三作り	ヨサンザ"クリ	F	人名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
194	漆山	孫左門作り	マコサエシダクリ	F	人名
195	漆山	糸ぼし石	エボシシタ	F	鳥帽子石
196	漆山	東沢口	ヒガツバタウチ	F	
197	漆山	二まい田	ニマイタ	F	二枚田
198	漆山	二まいの上	ニマイカミ	F	二枚田上
199	漆山	二枚田沢	ニマイダツバタ	F	
200	漆山	東	ヒガシ	F	
201	漆山	又七郎作り	マダラロウザクリ	F	人名
202	漆山	惣八郎作り	ソウハチロウザクリ	F	人名
203	漆山	きようか沢	キヨカツバタ	F	経ヶ沢か
204	漆山	ふかた	フカタ	F,G	深田
205	漆山	源藏作り	ゲンゾウタウザクリ	F	人名
206	漆山	おんのふれ	オシブレ	F	
207	漆山	兵吉作り	ヒヨウジタウザクリ	F	人名
208	漆山	かのとき石	カトキシタ	F	
209	漆山	つきの沢	ツクバタ	F	
210	漆山	稗田ノ入	ヒタノイリ	F	
211	漆山	弥左門作り	ヤザエモンタウザクリ	F	人名
212	漆山	壇の前(段ノ前)	ダンノエ	F,G	
213	漆山	東はなし	ヒガシハナシ	F	
214	漆山	小山ノ前	オヤマノエ	F	
215	漆山	李平	スモダヘ	F	スモモ：地潛りで窄められた地
216	漆山	山崎	ヤマザキ	F	
217	漆山	藤地	フジチ	F	フジ：山裾を引いた地形
218	漆山	はけの下	ハケノシタ	F,G	ハケ：崖、秃地
219	漆山	道ノ下	ミヅシタ	F	
220	漆山	丸()の内	マル()ノウチ	F	□：不明
221	漆山	ふちの内	フチノウチ	F	
222	漆山	はし本	ハシモト	F	橋本
223	漆山	新貴	シンキ	F	
224	漆山	小林前	コバヤシマエ	F	
225	漆山	小林分	コバヤシブン	F	
226	漆山	十郎右工門作り	ジユウカラウモンタウザクリ	F	
227	漆山	やくしノ前(G: やくし前)	ヤクシノマエ	F,G	薬師の前
228	漆山	堂ノ前	ドウノエ	F,G	
229	漆山	前畠	マロヒタ	F	
230	漆山	新山口	ニイマゲチ	F	
231	漆山	ミミとり分	ミミトリブン	F,G	
232	漆山	ミミとり原	ミミトリハラ	G	
233	漆山	そら沢	ソラツバ	F	
234	漆山	闇の上	セツカミ	F	
235	漆山	はつしの沢	ハツシツバタ	G	
236	漆山	内たて	ウヂタテ	G	内館か
237	漆山	沢なし	ツバナシ	G	
238	漆山	山岸(山きし)	ヤマゼシ	G	
239	漆山	いなり沢口	イナリツバタウチ	G	稲荷沢口
240	漆山	山ノ下	ヤマツバタ	G	
241	漆山	まわりと	マワリト	G	廻戸か
242	漆山	一上島	イチヨウハシマ	G	イヂヨウ：一条からの転化にも注意が必要か
243	漆山	くわ島(くわはた)	クハタ	G	桑島
244	漆山	くわはた作り	クハタタウザクリ	G	桑島作り
245	漆山	くわ原	クハラ	G	桑原
246	漆山	入小林	イロハヤシ	G	
247	漆山	ヲノ	オノ	G	
248	漆山	十郎右工門	ジユウカラウモン	G	人名
249	漆山	丹後屋敷	タンゴヤシキ	G	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
250	塗山	やくし堂田	ヤウドウダウ	G	薬師堂田
251	塗山	オス堂	オイドウ	G	才津堂。参考：川西町には妻頭神社あり
252	塗山	十文字	ジユウモンジ	G	
253	塗山	砂田（すなた）	スナタ	G	砂の堆積地
254	塗山	先立	センダツ	G	
255	塗山	千達作	センダツザク	G	
256	塗山	下道	シタミチ	G	
257	塗山	くねつま	クネツマ	G	曲（くね）か。又は斜（カ）：土地が隆起して通過を妨げている所
258	塗山	大しつ	オオシツ	G	
259	塗山	石田	イシダ	G	石の多い田
260	塗山	源六	ゲンロク	G	人名か
261	塗山	川原（かわら）	カワラ	G	河川
262	塗山	川原前	カワラヘ	G	
263	塗山	北メ	キタメ	G	北免か（免税地）
264	塗山	北メヲノ	キタメヲノ	G	
265	塗山	土堂	ツチドウ	G	
266	塗山	カキツマ	カキツマ	G	
267	塗山	寺ノ田	テラノタ	G	寺社の免稅地
268	塗山	遠やしき	トヨシキ	G	遠屋敷
269	塗山	にし	ニシ	G	西
270	塗山	前	マエ	G	
271	塗山	道上	ミチノウエ	G	
272	塗山	越廻り	コシマリ	G	
273	塗山	平右衛門	ヒラエモン	G	人名
274	塗山	かしん作り	カシヌヅケ	G	
275	塗山	酒しやう塚（坂しやう塚）	サカヨウツバカ	G	塚があったか
276	塗山	ふかつた	フカツタ	G	
277	塗山	外やしき	ソトヤシキ	G	外屋敷
278	塗山	小野作（おのの作）	オノヅクリ	G	
279	塗山	小ノ	オノ	G	小野
280	塗山	白山堂	ハクサンドウ	G	白山神社
281	塗山	たうてん	タウテン	G	堂田（免稅地か）
282	塗山	やたうない	ヤタナイ	G	
283	塗山	外畠	ソトハタケ	G	
284	塗山	南	ミナミ	G	
285	塗山	与一	ヨイ	G	人名
286	塗山	与一作	ヨイヅクリ	G	人名
287	塗山	こつてんわう（こつ天王）	コツデンオウ	G	牛頭天王
288	塗山	天王十郎右衛門	テンノジロウエモン	G	人名
289	塗山	竹原（竹わら）	タカラ	G	館原か
290	塗山	水種越（水種こし、とよこし）	トヨコシ	G	水路
291	塗山	ままの上	ママノウエ	G	崖の上
292	塗山	高付	タカヅキ	G	
293	塗山	西高付	ニシタカヅキ	G	
294	塗山	東高付	ヒガタカヅキ	G	
295	塗山	高添	タカツエ	G	
296	塗山	ミそおけふん	ミゾケブン	G	
297	塗山	たいせい作（たいせい作）	タセイヅクリ	G	多勢作か
298	塗山	水くほ	ミズクボ	G	水窪
299	塗山	高まま	タカママ	G	ママ：崖
300	塗山	七つ歟	ナナウタ	G	
301	塗山	大覺屋敷	ダイガツケツキ	G	
302	塗山	内藏助作	ウチララヅクリ	G	人名
303	塗山	くらの助作	クラスカヅクリ	G	
304	塗山	よこおち（横おち）	ヨコチ	G	

N.O.	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
305	漆山	一枚五十かり	イマイゴ・ジュウカリ	G	刈は中世年貢上納に係る水田面積
306	漆山	廿五束かり	ジ・ユウゴ・ソウカリ	G	
307	漆山	明神堂	ミヨウジンドウ	G	明神堂
308	漆山	杉ノ下	スギノシタ	G	
309	漆山	石はし	イシハシ	G	石橋
310	漆山	せみ作	セミワクリ	G	
311	漆山	たのかミ(田ノ神)	タノカミ	G	田の神を祀っていたか
312	漆山	かつざわ	カツザワ	G	人名
313	漆山	よもき田	ヨモキタ	G	植物名。ヨモギ:崩壊地名
314	漆山	蓮田	レンタ	G	
315	漆山	系末(江末)	エヌエ	G	
316	漆山	ゑなし	エナシ	G	江無
317	漆山	系かみ	エカミ	G	江上
318	漆山	ノキハ	ノギハ	G	
319	漆山	ひやけ	ヒヤケ	G	
320	漆山	七合田	セブウダ	G	
321	漆山	水押	ミズカミ	G	洪水地名
322	漆山	北田	キタタ	G	
323	漆山	たいし堂	タシドウ	G	大師堂又は太子堂
324	漆山	川前	カワフ	G	
325	漆山	源左工門作	ゲンザエモンザクリ	G	人名
326	漆山	まとば	マトバ	G	的場、武芸の練習場
327	漆山	産作つくり	ヒサワクリ	G	人名
328	漆山	ほた田	ホタタ	G	紗:湿地
329	漆山	力きハ	カキハ	G	
330	漆山	ありはる	アリハル	G	
331	漆山	ほり	ホリ	G	
332	漆山	ヤシキツマ	ヤシキツマ	G	屋敷妻
333	漆山	しつばた	シツバタ	G	清水端か
334	漆山	出島	デハシ	G	
335	漆山	ヤンキ添	ヤンキツエ	G	
336	漆山	いへノ前	イヘノエ	G	
337	漆山	横道	ヨコゾ	G	
338	漆山	ほんきん作	ホンキンザクリ	G	
339	漆山	長おもて	ナガオモチ	G	長表
340	漆山	二郎左工門作	ジロウザエモンザクリ	G	人名
341	漆山	孫右工門作	サンゾウエモンザクリ	G	人名
342	漆山	ひはりた	ヒハリタ	G	雲雀田
343	漆山	ヒハコシ	ヒハコシ	G	
344	漆山	ノ添	ノツエ	G	野添
345	漆山	くわんおん堂	クワンオントウ	G	観音堂
346	漆山	川向	カワカイ	G	
347	漆山	法師柳	ハツシヤギ	G	
348	漆山	田高作	タカタツクリ	G	
349	漆山	寺田	テラタ	G	寺社の免税地
350	漆山	ひふんこ作	ヒブンコザクリ	G	
351	漆山	あなた	アナタ	G	穴田
352	漆山	大たき	オオタキ	G	大滝
353	漆山	屋敷前	ヤシマフ	G	
354	漆山	寺ノ下	テラノシタ	G	
355	漆山	しつの前	シツノエ	G	清水の前
356	漆山	一枚さハリ	イマイサハリ	G	
357	漆山	からち作	カヂクリ	G	
358	漆山	新石工門作	シウエモンザクリ	G	人名
359	漆山	太郎兵工作	タロウエツクリ	G	人名
360	漆山	ヤノメわたと	ヤノメワタド	G	
361	漆山	小林ノ下	コバヤシシタ	G	

1. 漆山（2）池黒の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
池黒		竹ケヨ	ae,ai		
1	池黒	一本木	イチボンギ	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区の南東端
2	池黒	井戸尻	イドジリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	井戸の底のような地形 低湿地
3	池黒	江留	エトメ (am: エトマリ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	江は入江、川。中落合運河の北
4	池黒	(ほとりとめ在け)	ホトメイ 竹	C	NO3に関係か。塙留在家
5	池黒	扇田	カキタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	カキタ：河川土砂堆積地
6	池黒	大坪	オオハタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の北。大きい坪又はハタ（坪の地形）
7	池黒	鬼二百菊	オニニセヤガリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積。鬼は大きく異形なものに付く冠詞
8	池黒	上之平 (am: 上ノ平)	ウエノタハ	ad,ae,ai,ak,am	山頂に別所館、池黒館山館あり
9	池黒	川原	カワラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道分岐地近辺
10	池黒	銀治前	カンジヤエ	ab,ad,ae,ai,ak,am	羽黒神社・觀音堂有り
11	池黒	木の実小屋 (ad,ae: 木ノ 室小屋, ai,am: 木之実小屋)	キノミヤ (ai: キノミヤ, am: キノミヤ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	江戸時代の「木の実御蔵」か
12	池黒	京田	キヨタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	経田（寺に寄進された田）の當て字か
13	池黒	庚檀	コクダシ (ai: カヌイダシ, am: カヌイダシ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	庚申塔のある壇か
14	池黒	石台	コクダイ (ai: カタダイ)	ab,ad,ae,ai,ak,aj,am	檀の前北。旧河道
15	池黒	五倫壇	ゴリンダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	五輪塔のある壇
16	池黒	川岸	カワカネ	ab,ai	川の窪んだ所
17	池黒	上川窪	カワカネツカ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川川洞門の窪地
18	池黒	下川窪	シモカワカネ	ad,ae,ai,ak,am	"
19	池黒	上割田	カミザワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	下割田の北
20	池黒	下割田	シモザワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川左岸微高地
21	池黒	東割田	ヒガシザワタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川右岸
22	池黒	割田	ワツタ	ai	
23	池黒	新石衛門川原	シウセイカワラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川左岸。人名
24	池黒	神明前	シンメイマエ (ai: シンメイマイ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	坂上神明宮
25	池黒	砂田	スダタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂の堆積地。上無川と織機川の間
26	池黒	閑ノ上	セノウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東・南弁天の東
27	池黒	閑ノ下	カケシタ	ad,ae,ak	崖
28	池黒	閑ノ下	セシタ	ai	
29	池黒	千苅田	センガリタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
30	池黒	台ノ上	ダイノウ	ab,ad,ae,ai,ak,am	上無川と織機川の間
31	池黒	高田	タカタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	石台の北。旧河道左岸の自然堤防
32	池黒	館之内 (ae,ai,am: 館ノ内)	タケノウチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	山麓にあった館か
33	池黒	館山	タケヤマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館之内の北。池黒館山館の南斜面
34	池黒	館山下	タケヤマシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館山の西。池黒館山館の南斜面
35	池黒	地蔵巡 (ae,ai,ak,am: 地蔵廻)	ジザウガタリ	ab,ad,ae,ai,ak,am	館之内の西。地蔵のある地の周りの意か
36	池黒	土戸川原	ヲトカワラ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道分岐地点。土：泥で戸を立てたように堰き止められたか
37	池黒	鳥居脇	トリイキ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高田の東。神明神社に間連か
38	池黒	長表	ナガモチ	ab,ad,ae,ai,ak,am	東田の北
39	池黒	中島 (ae,ai,ak: 中島)	ナカジマ	ab,ad,ae,ai,ak,am	織機川右岸。中洲状
40	池黒	永増	ナガマス	ab,ad,ae,ai,ak,am	長間洲か。上無川・矢ノ目川合流点
41	池黒	西屋敷	ニヤシタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宮内境

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
42	池黒	猫子前	ねこまへ	ab,ad,ae,ai,ak,am	ねこまへ：根小屋：非戦闘時の集落或は家臣団屋敷跡。旧河道左岸の自然堤防
43	池黒	猫子屋敷	ねこやしき	ab,ad,ae,ai,ak,am	岩倉神社略史では、義経がねこまへを手に入れ、岩倉神社に参拝したと伝える。 ねこまへ：非戦闘時の集落・家臣団屋敷跡
44	池黒	馬場	ばば	ab,ad,ae,ai,ak,am	松畠の北。城館関連。騎馬の修練場
45	池黒	長谷堂	ながたう	ad,ae,ai,ak,am	長谷觀音か
46	池黒	別所	べっしょ	ab,ad,ae,ai,ak,am	宮内境。宮内 NO64 参照
47	池黒	南弁天	けいせんてん	ab,ad,ae,ai,ak,am	字弁天の南
48	池黒	東弁天	ひがしへんてん	ab,ad,ae,ai,ak,am	字弁天の東
49	池黒	弁天	べんてん	ab,ad,ai,ak,am	弁天が祀られている地
50	池黒	赤坂	あかさか	ad,ae,ai,ak,am	
51	池黒	稻荷田	いなり	ab,ad,ae,ai,ak,am	西屋敷の西。上無川左岸。稻荷神社があった
52	池黒	岩倉	いわくら	ad,ae,ai,ak,am	岩倉神社
53	池黒	大乱	だいらん	ad,ae,ai,ak,am	災害地名
54	池黒	大屋敷	だいやしき	ad,ae,ai,ak,am	
55	池黒	菅畑	かやべ (ai: カヤベタ, am: カヤベタ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	字前田の西。上無川と織機川の間
56	池黒	北谷	きたや	ad,ae,ai,ak,am	
57	池黒	後沢田	ごのつた	ab,ad,ae,ai,ak,am	
58	池黒	小糠沢	こめくわ	ad,ae,ai,ak,am	効：ぬかるむ
59	池黒	駒ヶ沢	こまがくわ	ad,ae,ai,ak,am	
60	池黒	沢田	さわだ	ab,ad,ae,ai,ak,am	向畠の西。旧河道
61	池黒	沢見	さわみ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
62	池黒	蛇見沢	じゃみくわ	ad,ae,ai,ak,am	蛇：土石流地名
63	池黒	高閑	たかせき	ab,ad,ae,ai,ak,am	神明前の西の低地
64	池黒	辰之尾	たつのお	ab,ad,ae,ai,ak,am	野中の北
65	池黒	立石	たていし	ad,ae,ai,ak,am	自然石か。館関連か
66	池黒	玉ヶ沢	たまがくわ	ad,ae,ai,ak,am	
67	池黒	壇ノ前	だんのまへ	ab,ad,ae,ai,ak,am	馬場の北東。旧河道左岸の高地
68	池黒	貞白森	ていしろり	ad,ae,ai,ak,am	テロ（神の使い）の植む森
69	池黒	時田	ときた	ad,ae,ai,ak,am	
70	池黒	土手岸	どてき	ab,ad,ae,ai,ak,am	
71	池黒	藤ノ沢	とうのくわ	ad,ae,ai,ak,am	
72	池黒	長林	ながはや	ab,ad,ae,ai,ak,am	
73	池黒	二枚田	にまいだ	ab,ad,ae,ai,ak,am	
74	池黒	野中	のなか	ab,ad,ae,ai,ak,am	砂子田境
75	池黒	兀ノ沢 (ai: 兀ヶ沢)	ハゲガクワ	ad,ae,ai,ak,am	崖地名
76	池黒	畠田	はただ (ai: ハタダ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	地区的南東端
77	池黒	早坂	はやさか	ad,ae,ai,ak,am	
78	池黒	東大鷹	ひがしうづ	ad,ae,ai,ak,am	大鷹山関連
79	池黒	東田	ひがしだ	ab,ad,ae,ai,ak,am	向畠の東。後背湿地
80	池黒	東藤面沢	ひがしふじめくわ (am: ひがしふじめくわ)	ad,ae,ai,ak,am	トカラ：鶴類の植物。蔓が繁茂する谷川の崖
81	池黒	西藤面沢	にしふじめくわ (am: にしふじめくわ)	ad,ae,ai,ak,am	"
82	池黒	東稗田	ひがしべいだ (am: ひがしべいだ)	ad,ae,ai,ak,am	
83	池黒	評判平	ひょうばんぱだい	ad,ae,ai,ak,am	
84	池黒	平戸	ひらど	ab,ad,ae,ai,ak,am	ヒラ：傾斜地或は平坦地。戸：出入り口、門のような地形

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
85	池黒	日度 (ad,ae,ai,am: 日渡)	ヒツタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	旧河道合流地点。渡河地点或は橋渡しや荷渡しか。またはニワタリの神(水神等)を祀った地か。
86	池黒	畠田	ハタダ	ad,ak,am	
87	池黒	前田	フタタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	字西屋敷の南
88	池黒	松田	マツタ	ad,ak	
89	池黒	峰岸 (ai: 峰岸)	ミツイシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	高闘の北。別所山の裾
90	池黒	向畠	ムカヒタ	ab,ad,ae,ai,ak,am	猫子屋敷の北。旧河道左岸の自然堤防
91	池黒	向山	ムカヒヤマ	ad,ae,ai,ak,am	
92	池黒	六屋敷	ムツヤシキ (ai,am: ロカヤシキ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	宇江留の西。ほりとめ在 家に関連か。中落合運河跡の北側
93	池黒	屋敷沢	ヤシキザワ	ad,ae,ai,ak,am	
94	池黒	休場	ヤスミバ	ab,ad,ae,ai,ak,am	日渡の北東。旧河道
95	池黒	矢ノ沢口	ヤナガワチ	ad,ae,ai,ak,am	
96	池黒	八幡田	ヤハタタケ (ai: ハチマンタ、 am: ハチマンデソ)	ab,ad,ae,ai,ak,am	八幡神社があったか、そ の免租田
97	池黒	割沢	ワザワ	ad,ae,ai,ak,am	
98	池黒	(したの在け)	シタガワ	C	下の在家
99	池黒	(なかほりの在け)	ナカヒロガワ	C	中堀在家
100	池黒	(をしま在け)	オジマガワ	C	尾島在家
101	池黒	なかのやしき	カナヨシキ	C	中ノ屋敷
102	池黒	(たての在け)	タガタガ	C	館の在家
103	池黒	西原	ニシハラ	ab,ae,ai,am	織機川左岸
104	池黒	松畠	マツタ	ab,ae,ai,am	休場の北
105	池黒	細田	ホツタ	ab,ae,ai,am	西原の北。織機川左岸
106	池黒	水無	ミズナシ	ai,am	
107	池黒	蟹沢	ドジヨウサ	ai,am	
108	池黒	中沢口	ナガサリガワチ	ai,am	
109	池黒	燒之平	ヤクノダ	行	ai,am
110	池黒	老之瀧	イシタキ	ai,am	
111	池黒	大走	オヘシリ	ai,am	崖地名
112	池黒	矢野目	ヤノメ	ai,am	
113	池黒	四ツ谷	ヨツガ	ai	
114	池黒	東矢の目	ヒガシヤノメ	D	
115	池黒	(たての内在家)	タガタガ	行	D
					東矢の目村に所在と云 う。館の内在家

1. 漆山（3）羽付の小字名・地名

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
羽付		羽付	はづき	ae.ai	昔は羽月村と云う
1	羽付	稻荷田	けりた	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	稻荷神社の免租地
2	羽付	稻荷前	けりまへ	ad,ae,ai,ak,am	稻荷下の北
3	羽付	稻荷下 (E: いなり下)	けりシタ	E,ab,ad,ai,ak,am,Ub,Wb	稻荷神社がある山の下
4	羽付	稻荷沢 (E: いなり沢)	けりざわ	E,am,Wb	水上・箕輪の北
5	羽付	稻荷前下	けりまえシタ	ae,ai	
6	羽付	扇田	せんとう	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	せんとう: 旧河道の土砂堆積地
7	羽付	闇ノ上 (E: かけの上)	くろノウエ (ad: くろノウエ)	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	道の東の西。集落
8	羽付	九百菊	こひゃくぎく	ab,ad,ae,ai,ak,am	川の南。刈は中世年直上納に係る水田面積
9	羽付	四百菊	よひゃくぎく	ab,ad,ae,ai,ak,am	〃、高山原北の後背湿地
10	羽付	高山原	たかやまはら	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	旧河道右岸の自然堤防等
11	羽付	坂ノ下 (E: 坂下、ai,am: 坂之下)	さかのした	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	手代山の西の谷
12	羽付	児子神 (E: ちご神、児神)	こじこみ (ai: こじこみ)	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	児子神社有り
13	羽付	児子神裏	こじこみうら	ad,ae,ai,ak,am	児子神社の裏の山
14	羽付	手代林	てしろり	ad,ae,ai,ak,am	テシロリ: 出城の可能性も。 テシロリ (神の使い) の棲む林
15	羽付	手代山	てしろやま (ae: てしろやま)	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	テシロリ (神の使い) の棲む山
16	羽付	窪田	くぼた	am	窪地、低湿地地名
17	羽付	南窪	みなみくぼ	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	〃
18	羽付	西窪	にしきぼ	ad,ae,ai,ak	〃
19	羽付	西滝	にしだき	ae,ai,am,Wb	莊之屋の南
20	羽付	東又	ひがしまた	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	西百石の西。低地
21	羽付	西又	にじまた	E,ab,ad,ae,ai,ak,am	東又の西。低地
22	羽付	東入	ひがし入り	E,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	山に入れる沢。漆山館の西
23	羽付	前田	まへた	E,ab,ad,ae,ai,ak,am,Wb	集落の前
24	羽付	道ノ下 (ai: 道之下)	ぢのした	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	旧道の南、南端は川
25	羽付	道東	ぢとう	ad,ab,ae,ai,ak,am	集落内を走る道の東
26	羽付	水上	じょうじょう	ad,ae,ai,ak,am	東入の西
27	羽付	安部澤	あべず	E,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	安部御吉が片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部澤とも伝うが明らかでない(沖ノ村史 651頁)。和田境
28	羽付	阿弥陀山	あみだやま	ad,ae,ai,ak,am	阿弥陀山物見
29	羽付	猪口帰 (安永5:ちやうこ 帰り、文政13:長こ帰り)	ちよかごり (ad: ちよか ごり, am: ちよかごり)	E,ad,ae,ai,ak,am,Ub,Wb	安部沢や入道清水の北東
30	羽付	莊ノ尻 (ai: 莊之尻)	ぢょうのしり	ad,ae,ai,ak,am	地区の最北。山地。北条莊の端か
31	羽付	入道橋	いのうばし	ad,ae,ai,ak	
32	羽付	入道清水 (安永5:入道しつ)	いのうくしづ	E,am,Wb	坂ノ下の北。湧水地名
33	羽付	二本松沢	にほんまつざわ	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	稻荷沢の北
34	羽付	平林	ひらばやし	ad,ae,ai,ak,am	ヒラバヤシ: 崖崩れ地
35	羽付	水呑場	みのぶみば	E,ad,ae,ai,ak,am,Wb	二本松沢の北
36	羽付	箕輪	みのわ	ad,ae,ai,ak,am	水上の北
37	羽付	稻荷山	けりやま	ad,ae,ai,ak,am	稻荷神社
38	羽付	篠田	しのだ	ab,ae,ai,am	シノダ: 崩壊地名。川の南
39	羽付	細田	すいた	E,ab,ai,am,Wb	漆山境。細長い地形
40	羽付	たんの前 (安永5:段の前)	だんのまへ	E,Wb	壇の前
41	羽付	河近 (かちか)	かか	E,Wb	
42	羽付	おり橋	おりばし	E	
43	羽付	北	きた	E,Wb	
44	羽付	くねつま	くねつま	E,Wb	クネツマ: 山の根元。土地が隆起し通過を妨げる所
45	羽付	道はた	ぢかはた	E	道端
46	羽付	ほりはた (堀端)	ほりはた	E,Wb	

N O	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
47	羽付	道の上	ミナエ	E	
48	羽付	樋口	トイチ	E,Wb	
49	羽付	堂ノ前	ドウノマエ	E,Wb	
50	羽付	堂ノ後	ドウノマタ	E,Wb	
51	羽付	大志田（大シタ）	オシタ	E,Wb	
52	羽付	手向山	テムシヤマ	E	
53	羽付	沢口	ツワガチ	E,Wb	
54	羽付	砂田	スナダ	E,Wb	砂の堆積地
55	羽付	歳の神（さいの神）	サイノカミ	E,Wb	賽の神を祀った所
56	羽付	穂越	トイコシ	E,Ub,Wb	
57	羽付	とうのこし（とうの越）	トウノコシ	E,Wb	堂ノ越
58	羽付	和光田	ワコゲン	E	和田の和光院檀と関係か
59	羽付	橋本	ハシモト	E,Wb	
60	羽付	武反田	ニタタ	E,Wb	
61	羽付	割田	ワカタ	E,Wb	
62	羽付	五歳作	ゴソウザク	E,Ub,Wb	人名
63	羽付	深田（ふかた）	フカタ	E,Ub,Wb	
64	羽付	せき田	セキタ	E,Wb	関田
65	羽付	宮内	ミヤチ	E	
66	羽付	西田	ニシタ	E	
67	羽付	高山原	タカヤマハラ	E,Wb	
68	羽付	にし（西）	ニシ	E,Wb	
69	羽付	すげた（すげ田）	スゲタ	E,Wb	
70	羽付	柿在家（かき在家）	カキザカ	E,Wb	柿在家（掛在家か）
71	羽付	ひばり田	ヒバリダ	E,Wb	雲雀田
72	羽付	畠田	ハタダ	E	
73	羽付	角畠	カドハタ	E	参考：門島（カドハタ：中世の在地領主の居館周辺の田地（畠）で開発領主直管地）
74	羽付	沢田	ツワタ	E,Wb	
75	羽付	サワ	サワ	E	沢
76	羽付	沢ハタ（沢端）	ツワハタ	E,Wb	
77	羽付	みのわはた（箕輪畠）	ミロハタ	E,Wb	
78	羽付	たい	タイ	E,Wb	
79	羽付	前畠	マエハタ	E,Wb	
80	羽付	油田	アブラダ	E,Wb	稻荷神社の免租地と云う
81	羽付	たん下	タンシタ	E	壇下
82	羽付	東	ヒガシ	E,Ub	
83	羽付	十文字	ジュウモン	E,Wb	辻より新しい用語
84	羽付	苗代	ナワシロ	E,Wb	
85	羽付	くぼ（窪）	クボ	E,Wb	
86	羽付	七十かり（七十刈）	ナナシユガリ	E,Wb	刈は中世年貢上納に係る水田面積
87	羽付	柳田	ヤナギタ	E,Wb	ヤギ：河川浸食地
88	羽付	大た川	オタカワ	E	大田川、河川名
89	羽付	梨（梨子）の木田（梨木田）	ナシタ	E,Wb	
90	羽付	白山堂	ハクサンドウ	E,Wb	白山神社
91	羽付	大た川端（大こ川端）	オタカワハタ	E,Wb	大田川端
92	羽付	石田	イシタ	E,Wb	
93	羽付	ハタホコ（はたほご）	ハタコ	E,Wb	旗鉢
94	羽付	塩から田	シオカラタ	E,Wb	
95	羽付	天王（天のふ）	テンノ	E,Wb	牛頭天王
96	羽付	すみ畠	スミハタ	Wb	
97	羽付	油田道西	アブラダミヒシ	Wb	油田：免田
98	羽付	油田道東	アブラダミヒガシ	Wb	"
99	羽付	いなり下道北	イナミシタヒキ	Wb	
100	羽付	坂の下屋敷	カカルタカキ	Wb	

NO	地区名	字名・地名	読み	出典	備考
101	羽付	かご田(籠田)	カゴタ	Ub,Wb	
102	羽付	あふき田	アフキタ	Wb	
103	羽付	穴沢	アナザワ	Wb	
104	羽付	屋敷添	ヤシキツエ	Wb	
105	羽付	たいの下	タイノシタ	Wb	射:河岸段丘
106	羽付	宮田	ミヤタ	Wb	神社の免租地か
107	羽付	おり端	オリハタ	Wb	
108	羽付	前沢	マエザワ	Wb	
109	羽付	御林下	ゴリンタ	Wb	
110	羽付	的場	マトガ	Wb	武芸の練習場
111	羽付	善屋敷	ゼンヤシキ	Wb	
112	羽付	わごう田	ワゴウタ	Wb	
113	羽付	樋ノ脇	トイノワタ	Ub	
114	羽付	山ノ神堂前	ヤマノミドクマエ	Ub	山神
115	羽付	安部沢与五郎境	アベサヨコロカサカイ	Ub	人名
116	羽付	入道清水四郎右衛門境	ニコケラジミツヨリエシマサカイ	Ub	人名
117	羽付	安部沢五郎右衛門山境	アベサヨゴロカエミヤマサカイ	Ub	人名
118	羽付	橋荷下道下	ケリタミシタ	Ub	
119	羽付	元と堂	モドウ	Ub	
120	羽付	前田苗代	マダナリシロ	Ub	
121	羽付	西瀧穴沢	ニシタケアツツワ	Ub	
122	羽付	いなり沢閑上明神脇	イナリワタケイミヨウジンツカ	Ub	
123	羽付	衣田	ヨモタ	Ub	
124	羽付	欠ノ上	カクノウエ	Ub	射:地崩れ地名
125	羽付	川近	カクチ	Ub	

1. 漆山 (4) その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	一	境川	カタハラ		織機川の旧名と云う
2	一	織機川	オリカガワ		大里端(オリカス、大里:郡衙のあった里、その境の川)や郡端川(コリカ)からの転化の可能性はないか?
3	羽付	羽月村	ハヅキムラ	市史編集資料第26号89頁	羽付村の旧名という

※補足 沖縄地区 その他の地名等

NO	地区名	地名	読み	出典	備考
1	一	栗屋川	クリヤガワ	寛政九年絵図(米沢市立図書館)	上無川の旧名。「高松川」とも栗屋川とも云うとあり

※南陽市字限図調査報告書(2) -沖郷一 発刊後に確認

2. 梨郷 (1) 梨郷の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
梨郷(A: 林郷)		リンゴウ	A.ai		(臨江の意か?)
1	梨郷	五把野	ゴリノ	ab.ad ae ah ai ak am	税関係地名か。律令時代、田租として一段につき稲二束一把(のち一束五把)の率でかかった
2	梨郷	西五把野	ニシゴリノ	am	
3	梨郷	東五把野	ヒガシゴリノ	am	
4	梨郷	大河	タカ	ab.ad ae ah ai ak am	雨田の北。羽付から流れる川(上館堰)の旧河道に關係か
5	梨郷	船守(ak: 舟守)	フナモリ	ab.ad ae ah ai ak am	羽付から流れる川(上館堰)の旧河道沿いか
6	梨郷	契約田	ケイヨウタ	ab.ad ah ai ak am	契約譜に由来か
7	梨郷	南契約田	ミナミケイヨウタ	ab.ee ah ai am	"
8	梨郷	西契約田	ニシケイヨウタ	ab.ee ah ai am	"。南端は最上川
9	梨郷	東契約田	ヒガシケイヨウタ	am	"
10	梨郷	長須ヶ淵	チヨヌガハチ	ab.ad ah ai ak am	最上川蛇行部旧河道。天正15年増田宗義(宗繁)、砂塚の鼠田、竹原の加津木沢、梨郷の長須ヶ淵など2千刈の地その他のを梨郷本覚寺寺領として寄進
11	梨郷	本館	モダケ	ab.ad ae ah ai ak am	館廻(南館)の西。湿地。南館の地名が遷移したか
12	梨郷	松木壇(ae: 松ノ木壇)	マツキダン	ab.ad ae ah ai ak am	柵は近世墓地
13	梨郷	廻田(ad.ee.ah.ai.ak.am: 廻り田)	カタリダ	ab.ad ae ah ai ak am	微高地の周りに位置する田か
14	梨郷	入生田	イリダ	ab.ad ae ah ai ak am	井料田: 用水管理のための共同水田
15	梨郷	砂田	スナタ	ab.ad ae ah ai ak am	砂の堆積地
16	梨郷	袖田	ソテタ	ab.ad ae ah ai ak am	袖: 尾根側面、建造物の脇。地形が袖に似る等
17	梨郷	長山田	チヨウサンタ	ab.ad ae ah ai ak am	南館北東。長は坂道のある地。高低差のある地形
18	梨郷	桐町	アラマチ	ab.ad ae ah ai ak am	アラチ: 中世の門前町商業地。梨郷小館
19	梨郷	桐町前	アラマチヤエ	ab.ee ah ai am	館廻(南館)の北
20	梨郷	石田	シタ	ab.ad ae ah ai ak am	石の堆積地。災害地名
21	梨郷	芹ヶ淵	セリガハチ	ab.ad ae ah ai ak am	植物地名。芹の生える湿地(春野)
22	梨郷	酒町	サカマチ	ab.ad ae ah ai ak am	梨郷上館の南。集落。坂町か
23	梨郷	酒町南	サカマチミ	ab.ee ah ai am	酒町の南、集落、南半は最上川旧河道
24	梨郷	小豆田	アズキタ	ab.ad ae ah ai ak am	館廻の西。最上川旧河道蛇行部。アズキ(アズキ): 崖岸地名
25	梨郷	庚申檀	カノエタン	ab.ad ae ah ai ak am	庚申塔のある壇か
26	梨郷	下巻	シモキ	ab.ad ae ah ai ak am	?: 川の巻曲部。中世城館に伴う「牧」の可能性もある。中巻3には建高寺あり
27	梨郷	中巻	ナカキ	ab.ad ae ah ai ak am	
28	梨郷	巻	マキ	ah,am	
29	梨郷	上町	ウエマチ	ad.ee ah ai ak am	増田家臣が住んだ所で侍屋敷とも云つた
30	梨郷	(上の在け)	C		上の在家
31	梨郷	安邊野	アヘノ	ab.ad ae ah ai ak am	最上川蛇行部に挟まれた土地。アヘノ: 湿地地名。大永元年頃に安倍ノ館の舟場があったと云う
32	梨郷	中島(ad.ai.ak: 中島)	ナカジマ	ab.ad ae ah ai ak am	最上川の南。中洲か
33	梨郷	前河原(ad.ah.ai.ak.an: 前川原)	マエガラ	ab.ad ae ah ai ak am	古川の西。旧河道と氾濫原
34	梨郷	経塚	キヨツヅカ	ab.ad ae ah ai ak am	経塚山
35	梨郷	小山	コヤマ	ab.ad ae ah ai ak am	上町の西。この付近に江戸時代の御米藏跡

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
36	梨郷	鼠田	ねずみだ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷 NO10 備考参照。「寝す見の田」の意か
37	梨郷	落付場	おちば (am: オチバ')	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	学演場: 落 (おち) を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に濁けておく場所。舟を止めて一休みする場かとの説もある
38	梨郷	雨田	あめだ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	落付場の北。ア: 濡地
39	梨郷	下加津木沢 (ai: 下賀津木沢)	アシガツキザワ	ab,ah,ai,am	アシガツ: 濡地性植物か。本覚寺の寄進田であったことによる開基田 (アシガツ田) に由来か
40	梨郷	加津木沢	カツキザワ	ad,ak	
41	梨郷	上加津木沢 (ai: 上賀津木沢)	アシガツキザワ	ah,ai,am	
42	梨郷	五百菊	ゴヒヅケ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	船守の西。刈は中世年貢上納に係る水田面積
43	梨郷	栗木田	クリキタ (am: クリキダ')	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	ア: 小前壠地名か
44	梨郷	良津々久田 (ae,ah,am: 良津々久田, ai,ak: 良津久田)	ヨツツクダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	領 (ヨツダ): 中世の莊園公領制で、莊園領主や莊官・地頭らによる直管田
45	梨郷	北六丁目	キロクチヨウメ	ab,ae,ah,ai,am	丁目: 町割りの区分。
46	梨郷	西六丁目	ニシロクチヨウメ	ab,ae,ah,ai,am	丁が条里制の条や面積を示す町。目が免田を示す免の転化という場合もある
47	梨郷	南六丁目	ミンロクチヨウメ	ab,ae,ah,ai,am	
48	梨郷	上六丁目	カミロクチヨウメ	ab,ae,ah,ai,am	
49	梨郷	六丁目	ロクチヨウメ	ab,ad,ah,ak,am	
50	梨郷	於代田	オダイダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	好: 縮い傾斜地、扇状地、低湿地
51	梨郷	三拾菊	サンジユウケ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
52	梨郷	豊田	タチダ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	タチならば災害で荒れた地の意
53	梨郷	館廻 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 館ノ廻)	ケーノマツリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷南館主郭
54	梨郷	宮城	ミヤギ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古代の宮城郷に由来
55	梨郷	横道	ヨコミズ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館廻の北西。湿地
56	梨郷	沼向	ヌマムカイ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	酒町南の南、旧河道の川向い。沼があつたか
57	梨郷	下沼向	シヌマムカイ	ab,ad,ae,ah,ai,am	沼向の南、自然堤防
58	梨郷	上沼向	カミヌマムカイ	ae,ah,ai,am	下沼向の東、小豆田の南
59	梨郷	岡野	カマ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	北に旧河道、西・南にも最上川と旧河道がある
60	梨郷	岡野下	カマシタ	ab,ae,ah,ai,am	岡野の南・最上川の岸
61	梨郷	階	カド	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	ア: 階段の地形
62	梨郷	壇ノ前 (ai,ak,am: 檜ノ前)	ダンノマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	檜: 近世墓地
63	梨郷	寺山下	テラヤシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	寺山の下 (西)
64	梨郷	寺山	テラヤマ	ae,ah,ai,am	平野古窯あり
65	梨郷	下河原 (ah,am: 下川原)	シタカラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	寺山下の北。最上川右岸
66	梨郷	越ヶ沢	コシガツツ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸
67	梨郷	神楽山	カミカラ	ad,ae,ai,ak	梨郷古墳群。丘を棒で打ったり馬が通たりすると太鼓を打つような音がすると云われた
68	梨郷	二本木	ニホンキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	
69	梨郷	平野	ヒラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
70	梨郷	腰巻田	コシマタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	川が巻く (曲がる) 地
71	梨郷	上西部 (ae: 上西郷)	カミシゴオリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	郡術闘連地名か。(※M 8年梨郷では砂塚分、M 26年砂塚では梨郷分になっている。編入か)
72	梨郷	八刈場	オカハ' (ad: オカハ')	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	南端が最上川。泥濛城の自然堤防。八は入るの誤字の場合もある
73	梨郷	入刈場	イカハ'	ai	八刈場の誤認か
74	梨郷	押切	オカリ (am: オカリ')	ab,ad,ah,ai,ak,am	堤防決壩地。最上川蛇行部に挟まれた地
75	梨郷	町田河原 (ai: 町田川原)	マチダガタラ (ai: マチダガタラ')	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川蛇行部に挟まれた島状の地。巻き田河原か

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
76	梨郷	下田川原	シモダガラ	ae,ai	
77	梨郷	古川 (ad,ai,ak: 古河)	フルワ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川旧河道
78	梨郷	開発	ヒラキ (ai: カハツ、 am: カハツ'')	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川とその左岸。開拓地名
79	梨郷	立野	タツノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸。氾濫原。タツノ: 断つ、河岸浸食か
80	梨郷	柳ヶ峰	クシガミキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
81	梨郷	大森	オオモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
82	梨郷	開田	カゲン	ah,am	開拓地名
83	梨郷	上館	ウタタ (ai: ウタタ'テ、 am: カミダテ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷上館
84	梨郷	鹿野	カノ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
85	梨郷	山泉寺	サンセンジ	ad,ae,ah,ai,ak,am	正保 9 年開山の平野山山頂に創建。正保 11 年焼失、移転し建立となる。
86	梨郷	深沢	フカワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
87	梨郷	梨子木	ナシキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
88	梨郷	(なしの木在け)	ナシノキ'イ	C	梨の木在家
89	梨郷	七十刈	シチゴカ'リ	ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
90	梨郷	中島平 (ah: 中鶴平)	ナカシマツハ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
91	梨郷	長峰 (ai: 長峯)	ナガミキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
92	梨郷	山田	ヤマダ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
93	梨郷	宮城野	ミエノ	A	
94	梨郷	(朽木林在家)	ケチキハ'ヤシ'ケ	A	朽木林在家
95	梨郷	井戸尻	イドヅリ	A	
96	梨郷	(まき野在け)	マキノ'イ	C	まき野在家
97	梨郷	(かう六在け)	コウロウガ'イ	C	
98	梨郷	(なかの在け)	ナカノガ'イ	C	中の在家
99	梨郷	(下の在け)	シタガ'イ	C	下の在家
100	梨郷	(まちの在け)	マチノガ'イ	C	町の在家
101	梨郷	(うりはた在け)	ウリハタ'イ	C	うり畠在家
102	梨郷	上野	ウノノ	ab	
103	梨郷	西田	ニシダ	ab	
104	梨郷	神楽山下	カグチヤマシタ	ab,ae,ah,ai,am	神楽山の下。寺山下の北東
105	梨郷	理立	ウメテ	am	

2. 梨郷 (2) 竹原の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
竹原		タガタ	ae,ai		館原:城館地名
1	竹原	上加賀津木沢 (ai: 上加賀津木沢) 川沢	かみが“タガタ”ワ (ai: かみが タガタワ)	ab,ah,ai,am	梨郷 NO10、39 参照。 タガタは沼地の植物。ま たは寺が植林から被する 開基米 (カツキメ) に関係 か
2	竹原	下加賀津木沢 (ai: 下加賀津木沢)	シカタタガタワ	ab,ah,ai,am	
3	竹原	加賀津木沢	カタガタタガタワ	ak,am	
4	竹原	石仏	イシホト	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	板碑に由来
5	竹原	鈴振 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 鈴振り)	スズツリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	石仏の西
6	竹原	町田	チヤタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地区区南辺。南は宇大河や 宇船守。町田2は部分的 に明治19年梨郷へ編入
7	竹原	藏庭	ツケニワ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	ツケニワ: 濡地や洪水を妨げる 微高地。コ: 平らな場所
8	竹原	相之町 (ad,ai,ak: 相ノ町)	アソノマチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	石仏の北。水田。アソ: 田 川床の低所、合流点
9	竹原	太田	オタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	相之町の北。太田2は割 田館西。字限図では「大 田」となっている。
10	竹原	酒町	サカマチ	ab,ad,ah,ai,ak,am	酒町2は割田館北半
11	竹原	割田	ワカタ (am: ワタ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	割田館
12	竹原	白山田	ハクサンタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	白山神社への免田か
13	竹原	白山田前	ハクサンテンマエ (ai: ハク サンテンメイ)	ab,ah,ai,am	白山田の南。割田館の西
14	竹原	白山前	ハクサンフ	ae,ai	白山神社の前
15	竹原	上千苅田	カミシカガタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る 水田面積。字限図では「千 苅田」となっている
16	竹原	下千苅田	シモシカガタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	千刈田の西
17	竹原	宮城	ミツキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古代の宮城郷に由来
18	竹原	法界檀	ホキダイン	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	壇は近世墓地
19	竹原	圓行寺 (ah,ai,ak,am: 圓行 寺)	エンキョウジ (ae: エン キョウ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	圓行寺があった。現在 は龍雲院がある
20	竹原	天王前	テンオウマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	牛頭天王社。市史編集資 料 17 号ではその前に天 王寺 (後の和田の和光院) があったとする
21	竹原	山田	ヤタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	天王前の北東
22	竹原	七間地	シキチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	光山寺の東。元々正元元 年大日板碑があった
23	竹原	土平	ドウヒラ (ad: ドウヒ ラ、am: ドウヒラ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
24	竹原	井島	イジマ	ad,ah,ai,ak,am	井: 水がわく所、島: 中 州状の地
25	竹原	光山寺	コウサンジ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	光山寺 (現在の全城院) があった所
26	竹原	寺坂	テラカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	七間地の北
27	竹原	芹ヶ沢	セウガツ	ad,ae,ah,ai,ak,am	植物名。湿地
28	竹原	路畠	ロツハタ (ai: ロホタ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	總合公園内。畔は土砂崩 れ地名。又は「吹く」で 窓や鏡治園連地名か
29	竹原	中屋敷	ナカヤシ	ab,ad,ae,ai,ak,am	中屋敷地区は昭和 16 年 和田へ編入替
30	竹原	山ノ神沢 (ah: 山神沢)	ヤマノミツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	山の神
31	竹原	沼ノ戸	ヌワト (ai: ヌワト)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
32	竹原	石打場	イシカナル	ad,ae,ah,ai,ak,am	
33	竹原	徳根田	トケタ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
34	竹原	三十刈	サンジユウガタ	ad,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る 水田面積。
35	竹原	餅田返り	モチタガエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	餅: 離地
36	竹原	廻戸	マリド (ad: マト)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
37	竹原	冷水沢	スヌスガツワ (ai,am: ヒヤ ガツワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	失敗に終わったが近世用 水事業の水源地と云う
38	竹原	冷水返り	スヌスガエリ (am: ヒヤ ガエリ)	ah,am	

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
39	竹原	前坂	マエザカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
40	竹原	柳ヶ沢	ヤナガサワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
41	竹原	五十刈	コシゴウカリ (ai: コシ ゴウカリ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	刈は中世年貢上納に係る水田面積
42	竹原	北沢	キタザワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
43	竹原	本堂	モトドウ	ad,ae,ah,ai,ak,am	和田八千鉢神社があったという元堂山(基堂山、本堂山)に因連か
44	竹原	上ヶ窪	アカネガハ (ai,am: アカネガハ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
45	竹原	滝ヶ沢	タヌガサワ	ad,ah,ai,ak,am	
46	竹原	丸森沢	マルモツサワ	ad,ak	
47	竹原	小丸森沢	コマルモツサワ	ae,ah,ai,am	
48	竹原	大丸森沢	オマルモツサワ	ae,ah,ai,am	
49	竹原	舞台	マツイ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
50	竹原	大沢	オオサワ (ai: 材サワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
51	竹原	備後沢	ビゴサワ	ad,ak	
52	竹原	豊後沢	ブンゴサワ	ae,ah,ai,am	
53	竹原	梨子木平	ナシキタヒ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
54	竹原	東梨子木 (ah: 東梨子ノ木)	ヒガシナシキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
55	竹原	西梨子木 (ah: 西梨子ノ木)	ニシナシキ	ad,ah,ai,ak,am	
56	竹原	梨子ノ木沢	ナシキタハ	ae,ah,ai,am	
57	竹原	牛ヶ首	ウシガシビ	ad,ae,ah,ai,ak,am	首状の隘路
58	竹原	荒地	アレ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
59	竹原	七郎沢	シロウカワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
60	竹原	菰筒道	コモツヤ道 (am: コモツヤ 加)	ad,ae,ah,ai,ak,am	菰の読みは「マモ、コ、ク」
61	竹原	越中坂	エチユカサ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
62	竹原	坂町	サカマチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
63	竹原	平内沢	ハゼナツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
64	竹原	鳥居場	トリイバ	ad,ai,ak	
65	竹原	鳥居屋場	トリイハ	ae,ah,ai,am	
66	竹原	孫八沢	マゴハチザワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
67	竹原	孫八山	マゴハチヤマ	ae,ai	
68	竹原	横枝	ヨコヅラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
69	竹原	津花返り	ツバナガエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
70	竹原	安城沢	アシモサワ (ai: アシモロサワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
71	竹原	柏ノ入	カシノイリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
72	竹原	川原前	カワラエフ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
73	竹原	北ノ入 (ah: 北之入)	キタノイリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
74	竹原	綱木	ワキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
75	竹原	綱木平	ワキタヒ	ae,ah,ai,am	
76	竹原	十四枚田	ジヨウマツタケ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
77	竹原	小舟ヶ沢	コブシガサワ (ai: コブシサワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
78	竹原	上台	カミダヒ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
79	竹原	外沢	ヨリザワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
80	竹原	外沢山	ヨリザワヤマ	ae,ah,ai,am	
81	竹原	月ノ返り (ah: 月之返り)	ツキノカエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
82	竹原	若松前	ワカツマエフ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
83	竹原	稲荷林	イナヘイヤシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	稲荷山の解。墓地有
84	竹原	稲荷山	イナヘイマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
85	竹原	木和田	キウダ	ab	
86	竹原	木和田ヶ入	キウダガヒ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
87	竹原	下町	シタチ	ad,ai,ak	NO88と同じか
88	竹原	下夕町	シタチ	ab,ae,ah,am	シタチは誤読。夕は接続語。集落。下の在家か
89	竹原	沢田	ツツダ	ab,ad,ae,ai,ak	
90	竹原	竈ヶ入	カマガヒ	ab,ad,ai,ak	竈等があつたものか。竈山の手前の意か
91	竹原	竈ヶ八	カマガハチ	ae,ai	竈ヶ入の誤記か

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
92	竹原	水上	ミズカミ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
93	竹原	権太沢	ゴンタツリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
94	竹原	矢引沢	ヤビツツリ	ae,ah,ai,am	
95	竹原	志田前	シタエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
96	竹原	白山	ハクサン	ad,ae,ah,ai,ak,am	白山神社に関係か
97	竹原	黒森	ケホリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	ケホリ:境界の霊地を示す
98	竹原	闇代	ケヅシロ (ae: ケヅシロ, am: ケヅシロ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
99	竹原	羽黒堂	ハグロドウ	ad,ah,ai,ak,am	羽黒神社に由来か
100	竹原	大赤坂	オオカサカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
101	竹原	小赤坂 1、2	コカサカ	ae,ah,ai,am	
102	竹原	赤坂	アカサカ	ah,ai,am	
103	竹原	赤堂	アカドウ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
104	竹原	赤堂山	アカドウヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
105	竹原	雨沼	アマブチ	ad,ae,ah,ai,ak,am	雨が降ると沼になる地
106	竹原	熊ノ峠 (ae: 熊之峠)	ケマトウケ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
107	竹原	瀧ノ上 (ae:t 瀧之上)	タマツケ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
108	竹原	竜樹山	リュウジヨウサン (ae: リカシヨウサン)	ad,ae,ah,ai,ak,am	竜樹山館、竜樹山古墳群 「ヨシ」
109	竹原	明神沢	ミコウジンザワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
110	竹原	天王山	テンノサン	ad,ae,ah,ai,ak,am	天王山古墳群
111	竹原	稲場山	イナバヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
112	竹原	前坂	マヘカ	ad,ae,ai,ak	
113	竹原	坂町越	サカマチヨリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
114	竹原	堂坂	ドウサカ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
115	竹原	前山	マヘヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
116	竹原	鎗ノ切 (ae: 鎗之切)	カマツキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
117	竹原	本沢	モトツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
118	竹原	丸山	マルヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
119	竹原	長峰 (ah: 長峯)	ナガミ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
120	竹原	台山	タイヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
121	竹原	的場山	マトバヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	的場は武芸の練習場
122	竹原	丸森	マルゼン	ad,ae,ah,ai,ak,am	
123	竹原	上ヶ峰	ドカミ (ae: ドカク おう、am: ドカミ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
124	竹原	孫山	コヤマ	ad,ah,ai,ak,am	
125	竹原	浦山	ウツヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
126	竹原	登谷羅山	トガラヤマ (ad: トガラヤマ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	トガ: 谷川の岸 蔿
127	竹原	手這坂	テハツカ (ae: テハ ツカ、ai: テハツカ物)	ad,ae,ah,ai,ak,am	手で這って登るような急 な坂
128	竹原	大船山	オオフナヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
129	竹原	榎場	ケガラヤマ (ad: カガラ) (ad: カガラ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
130	竹原	若松山	ワカマツヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	若松山権現
131	竹原	大森	オオモリ	ad,ah,ai,ak,am	
132	竹原	神楽山	カゲラヤマ (ai: カゲラ サン)	ad,ae,ah,ai,ak,am	土平地区
133	竹原	金山	カネモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
134	竹原	北ノ沢	キタノツワ	ad,ae,ai,ak	
135	竹原	瀧尻 (ae: 瀧之尻、ah,am: 瀧 ノ尻)	カタノシリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
136	竹原	八幡沢	ハチマンツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	八幡神社に関係
137	竹原	八幡下	ハチマンシタ	ab,ae,ai	中屋敷の南、八幡神社に 関係
138	竹原	沢田山	ツツヤマ (ae: ツツヤ マ)	ad,ah,ai,ak,am	
139	竹原	豊年沢	カツハツツワ (ae: カツハ ツワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
140	竹原	南黒森	ミナミコロモリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	ケホリ:境界の霊地
141	竹原	一帽帽子 (ah: 壱盃帽子)	イハチヘルシ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
142	竹原	峰ヶ森	ミタカモリ	ad,ah,ak	
143	竹原	蜂ヶ森	ハチカモリ	ae,ah,ai,am	峰ヶ森の誤字か

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
144	竹原	蛇崩	ジヤクスレ	ad,ae,ah,ai,ak,am	土砂崩れの災害地名
145	竹原	榎木沢	エマザワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
146	竹原	砂畠	スカバタケ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
147	竹原	越口	コシケチ (ai:コシチ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
148	竹原	空崖	ソラカホ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
149	竹原	竹屋羅	タケテラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
150	竹原	沼沢 (ae: 沼之沢)	ヌマツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
151	竹原	堤返り	ツダカエリ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
152	竹原	蟹沢 (ah: 蟹沢)	カニザワ (ai: カニサワ、 am: カニガサワ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
153	竹原	枝沢	エダツワ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
154	竹原	草刈場	クサカハラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
155	竹原	池ノ上	イケノウエ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
156	竹原	狐穴	キツネアナ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
157	竹原	南ヶ沢	ミナミガツワ	ae,ah,ai,am	
158	竹原	石ヶ窪	イシガツボ	ah,ai,am	
159	竹原	松ヶ沢	マツガツワ	ae,ah,ai,am	
160	竹原	雨ヶ沢	アマガツワ	ae,ah,ai,am	
161	竹原	深沢	フカツワ	ah,am	
162	竹原	小寺坂	コテラサカ	ae,ah,ai,am	
163	竹原	貉沢	ムジナザワ	ae,ah,ai,am	ムジナ: 夕森又はアガマ
164	竹原	北山1、2	キタヤマノ	ah,am	
165	竹原	龜山	カメヤマ	ae,ah,ai,am	
166	竹原	平山	ヒラヤマ	ac,ah,ai,am	
167	竹原	名子山	ナゴヤマ	ae,ah,ai,am	
168	竹原	滝山	タキヤマ	ac,ah,ai,am	
169	竹原	稲荷前	イナロヒ	ah,ai,am	稲荷林の東、龍雲院の西
170	竹原	治兵衛壇	チベエダン	ah	七間地地区、正元元年大日板碑が建っていた。
171	竹原	半右衛門平	ハニバエダム	ah	山口半右衛門は竹原の豪農だったのだろうとされ、その屋敷は今も半右衛門屋敷と呼ばれ、また、半右衛門平という地名も残っている

2. 梨郷 (3) 和田の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
和田			ワタ	ae,ai	ワタ:山麓や河のカーブした地形。山麓の湧水地
1	和田	雲雀田	ヒガリタ	ad,ak,am	
2	和田	東雲雀田	ヒガリタヒガリタ	ab,ae,ah,ai,am	甲大作の北
3	和田	西雲雀田	ヒガリタヒガリタ (あヒニヒガリタ)	ab,ae,ah,ai,am	丙大作の北
4	和田	豊田	タタミテ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
5	和田	上豊田	カミタタミテ	ab,ae,ah,ai,am	東雲雀田の東
6	和田	下豊田	シタタミテ	ab,ai	東雲雀田の東
7	和田	東高田	ヒガタカタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上豊田の北。カ:傾斜地
8	和田	西高田	ヒガタカタ	ae,ah,ai,am	上館原の左岸、自然堤防
9	和田	高田	タタダ	am	
10	和田	西前田	ヒシマエタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	東前田の西
11	和田	東前田	ヒガシマエタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の南
12	和田	新館	ニイダテ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	西沼田の西。梨郷新館
13	和田	東沼田	ヒガシマツタ	ab,ad,ae,ah,ai,am	上館原の右岸。氾濫跡又は旧河道
14	和田	西沼田	ヒシマツタ	ab,ad,ae,ah,ai,am	東・西前田の南。湿地
15	和田	沼田	ヌタ	ak,am	
16	和田	宮田 (ae: 宮ノ田)	ミタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社に関する免租田。南は上館原の氾濫跡又は旧河道、中央は自然堤防、北西は後背湿地
17	和田	飯島	イシマ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	飯:飯を盛り上げたような地形
18	和田	井島	イシマ	ab,ad,ah,ai,ak,am	井:水がわく所。島:中州状の地。人名説も有
19	和田	街道下	カドカシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	飯島の南
20	和田	二反田	ニタシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	面積地名。梨郷新館
21	和田	元屋敷	モヤキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	明治期は古屋舎
22	和田	宿之東 (ah,ak,am: 宮ノ東)	シクノヒガシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	古屋敷の西。集落
23	和田	和光院檀	ワケイゲン (ai,am: ワケイゲン)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上館原が南に曲がる地點。和田の和光院は、かつて天王寺とよばれ羽黒修験法印であった。檀は近世墓地
24	和田	梨ノ木	ナギ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上館原の紅葉(坂)と和光院(坂)のうち和エイが南に流れを変える
25	和田	宝昌 (ad,ah,ai,ak,am: 宝烟)	カラハタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	妙が妙か。生産過跡地名か
26	和田	毘沙門前	ビシモンエ (ai: ビシ)	ab,ae,ai,am	毘沙門の南。片岸の東。集落
27	和田	毘沙門裏	ビシモンウ	ab,ae,ah,ai,am	毘沙門の北
28	和田	毘沙門	ビシモン	ad,ae,ah,ai,ak,am	毘沙門天を祀っていた「瓦堂山」(基堂山、本堂山)にあった八千ヶ符神社社殿の移転地と云う
29	和田	毘沙門沢	ビシモンザワ	ae,ah,ai,am	和光院の北「毘沙門沢」に毘沙門堂があった。その本尊は現在梨郷神社に安置されており、像は南北朝時代に遡るものとされている
30	和田	片岸 (A: かた岸、C: かたきし)	カタシ	A,C,ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸館。1380以前、地頭大江時広の臣。片岸石原が館を築く。天文14年 (1545) 伊達晴宗、判書を湯村秀監に送り、奉公無事により、望みの片岸郷の内、采配の地を承てて贈与する(伊達正統世次考)
31	和田	赤土	アカト	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の北。赤い土
32	和田	堤端 (ae: 堤ヶ畑)	ツヅミガタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	片岸の西。正寿院跡。墓地有、堤有
33	和田	堤ヶ入	ツヅミガリ	ae,ah,ai,am	

N O	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
34	和田	八幡下	ハチマンシタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	堤端の西。宮浦八幡神社があった場所の下
35	和田	八幡前	ハチマンマエ	am	
36	和田	羽黒ノ堂 (ad,ae,ah,ai,ak,am: 羽黒堂)	ハグロドウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	壇ノ前の西。羽黒神社があつたか
37	和田	塔ノ前	トウノマエ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	宿之東の南
38	和田	寺坂	テラザカ	ab,ad,ah,ai,ak,am	羽黒堂の北。全城院
39	和田	寺沢	テラザワ	ae,ai	
40	和田	上太田 (ah: 上大田)	カミオタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	
41	和田	大田	オタ	am	
42	和田	地蔵田	ジザケン	A,C,ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地蔵講の免租地 (晴宗公采地録に「かたきし内地蔵田」とある)
43	和田	大堀向	オホリムカイ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	梨郷新館の堀向いか
44	和田	釜場	カマハ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	生産遺跡関連地名か。或は於: 涸食地形か
45	和田	安部沢口	アベザツコ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	安部綱吉が片岸を経て宮内へ移る。一説には羽付安部澤とも伝うが明らかでない (沖郷村史)
46	和田	安部沢	アベザツ	ae,ai	
47	和田	館下 (ad,ae,ah,ai,ak: 館ノ下)	ケンシタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	赤松山館の西
48	和田	七曲り (ae,ah,ai,ak,am: 七曲)	ナナガツリ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	館下の西。赤松山館の西
49	和田	根越ヶ入	ネゴシガタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	七曲りの西の谷。根小屋地名か
50	和田	狩野	カノ (am: カノ)	ad,ae,ah,ai,ak,am	
51	和田	天神平	テンジンダヘ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	毘沙門の東。ヒアであれば傾斜地・急傾斜地の意
52	和田	館山	ケンヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	城館地名。赤松山館
53	和田	兀山 (ah,am: 穣山)	ハゲヤマ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
54	和田	宮ノ浦	ミヤウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	宮浦八幡神社があつた
55	和田	西大浦	ニシオウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
56	和田	東大浦	ヒガシオウラ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
57	和田	東沢田	ヒガシザワタ	ad,ai,ak,am	
58	和田	深田	フカタ	ab,ae,ah,ai,am	上豈田の東。ヲ: 濕地、上節堰の川河河道か
59	和田	大作	オオサク (ae: オサク)	ab	ヲ: 狹く行き詰った谷、丘陵間の長くやや窪んだ低地。丘陵間の細長く入り組んだ水田
60	和田	甲大作	コウオオサク	ae,ah,ai,am	"。地区南端
61	和田	乙大作	オイオオサク	ae,ah,ai,am	"。地区南端
62	和田	丙大作	ハヨオオサク	ae,ah,ai,am	"。甲大作の西
63	和田	酉大作	ニシオオサク	am	
64	和田	東大作	ヒガシオオサク	am	
65	和田	古屋鋪	フルヤシキ	ab	釜場の北、現在は「元屋敷」になつてゐる
66	和田	竈ヶ入	カマガタ	ah,am	生産遺跡関連地名か
67	和田	竈山	カマヤマ	ah,am	生産遺跡関連地名か
68	和田	中屋敷	ナカヤシキ	ah,am	
69	和田	沢田山	ザワタヤマ	ah,am	
70	和田	沢田	ザワタ	ah,am	
71	和田	掛在家	カサハ	ah,am	掛在家
72	和田	符はたけ	フバタケ	A	
73	和田	きり田	クリタ	A	
74	和田	三千かり	サンゼンカリ	A	三千刈
75	和田	山ち四郎の本堤	ヤマシヨウノホツミ	A	人名

2. 梨郷 (4) 砂塚の小字名・地名

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
砂塚		オダカ	ae,ai		
1	砂塚	鎌研	カキトギ	am	河川の氾濫で抉られた所。 江戸：湾曲型入り江地形
2	砂塚	西鎌研	ニシカキトギ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	"
3	砂塚	上鎌研	カキトギ	ab,ae,ah,ai,am	"
4	砂塚	下鎌研	シカキトギ	ab,ae,ah,ai,am	"
5	砂塚	中鎌研	カキトギ	ab,ae,ah,ai,am	"
6	砂塚	南原	ミハラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	地区南辺。墓地有。島崎館があつたと云う。
7	砂塚	並柳	ハタキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸。ハタキ：河岸浸食地
8	砂塚	南並柳	ミハラハタキ	ae,ah,ai,am	後背湿地
9	砂塚	権現堂	ゴンゾウドウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸、権現堂があつたか。自然堤防
10	砂塚	権現前	ゴンゾウフジ (ai: ゴンゾウザイ)	ab,ae,ah,ai,am	小開の西、権現堂の南。後背湿地
11	砂塚	礼記(ad: 禮記)	レキ	ad,ae,ah,ai,ak,am	
12	砂塚	上落付場	カミオカハ (am: カミオカハサガ)	ab,ad,ae,ah,ai,am	菅原湯：学(かほじ)を刈って乾燥させ、皮がはがれ易いよう流水や池沼に漬けておく場所。舟を止めても休みする場があつたかとする説もある(梨郷村史)
13	砂塚	下落付場	シモオカハ (am: シモオカハサガ)	ab,ad,ae,ah,ai,am	"
14	砂塚	落付場	オカハ (am: オカハサガ)	ak,am	
15	砂塚	鼠田(ねすた：増田宗成寺領寄進状)	ヌタミタ (ヌタタ)	ad,ak	梨郷 NO10 参照。ヌタ：河川氾濫に關係する「寝す田」の事例もある
16	砂塚	上鼠田	カミヌタミタ	ab,ae,ah,ai,am	"
17	砂塚	上本鼠田	カミモヌタミタ	ai	"
18	砂塚	本鼠田	モヌタミタ	ab,ae,ah,ai,am	"。上・下西鼠田の東
19	砂塚	上西鼠田	カニシヌタミタ	ab,ah,ai,am	"。下西鼠田の北
20	砂塚	下西鼠田	シニシヌタミタ	ab,ah,am	"。下鼠田の北
21	砂塚	中鼠田	カヌタミタ	ab,ae,ah,ai,am	"。本鼠田の南
22	砂塚	下鼠田	シヌタミタ	ab,ae,ah,ai,am	"。下西鼠田の東
23	砂塚	大志田	オシヂ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	川内裏の北。ヂタ：荒れる
24	砂塚	若宮	ワカミヤ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	伊達時代に淨土宗の了西庵という寺があつた
25	砂塚	若宮前	ワカミヤエ (ai: ワカミヤイ)	ab,ae,ah,ai,am	大志田の北
26	砂塚	東寺田	ヒガシテラダ	ab,ae,ah,ai,am	寺の領田か免租地
27	砂塚	西寺田	ニシテラダ	ab,ae,ah,ai,am	
28	砂塚	寺田	テラダ	ad,ak	
29	砂塚	古屋敷	フルヤキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	屋敷跡
30	砂塚	八ツ口	ヤツチ	ab,ad,ak	
31	砂塚	上八ツ口	カミヤツチ	ab,ae,ah,ai,am	中八ツ口の北。水路分岐地点
32	砂塚	中八ツ口	カヤツチ	ab,ae,ah,ai,am	東八ツ口の北。水路分岐地点
33	砂塚	東八ツ口	ヒガシヤツチ	ab,ae,ah,ai,am	堤端の北。水路分岐地点
34	砂塚	下八ツ口	シモヤツチ	ae,ah,ai,am	中八ツ口の南西
35	砂塚	越	トコシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	上八ツ口の北
36	砂塚	東辻柳	ヒガシツヅリヤギ	ab,ae,ah,ai,am	
37	砂塚	西辻柳	ニシツヅリヤギ	ab,ae,ah,ai,am	集落
38	砂塚	辻柳	ツヅリヤギ	ad,ak	西辻柳の南
39	砂塚	辻柳前	ツヅリヤギマエ (ai: ツヅリヤギマイ)	ab,ae,ah,ai,am	
40	砂塚	田中	タカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	西辻柳の北
41	砂塚	江中	エカ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	旧河道の中
42	砂塚	中野	カノ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	東辻柳の北。中野在家か
43	砂塚	なかの在家	カノウサ	C	中野在家
44	砂塚	中野裏	カノウラ	ab,ah,ai,am	中野の北東

NO	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
45	砂塚	中裏	カウラ	ae	
46	砂塚	掛在家	カサ ^ト イケ (ai: カケ ^ト イケ)	ab.ad,ae,ah,ai,ak,am	掛在家
47	砂塚	東掛在家	ヒガ ^シ カサ ^ト イケ	ab,ae,ah,ai,am	在家地名
48	砂塚	堂越 (ae,ai,ak,am: 堂ノ越)	トウコシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	中野裏の北
49	砂塚	大作	オモリク	ad,ak,am	ヲ: 狹く行き詰った谷。丘陵間の長くやや深んだ低地。丘陵間の細長く入り組んだ水田
50	砂塚	下大作	シオモリク	ab,ae,ah,ai,am	清水ノ下の西
51	砂塚	上大作	カミオモリク	ab,ah,ai,am	上大作裏の見案真
52	砂塚	上大作裏	カミオモリ ^ク ウラ	ab,ah,am	掛在家の西
53	砂塚	大作裏	オモリウラ	ae,am	
54	砂塚	中大作	ナカオモリ ^ク ウ	ab,ae,ah,ai,am	上大作裏の西
55	砂塚	前大作	マエオモリク	ae,ai	
56	砂塚	裏大作	ウラオモリク	ae,ai	
57	砂塚	大作前	オモリウラ	ab,ah,ai,am	上大作の南西
58	砂塚	清水ノ下	シミズ ^シ ノタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩窪の北
59	砂塚	塩窪	シオガ ^マ (ai: シオガ ^マ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩窪神社
60	砂塚	西塩窪	ニシオガ ^マ (ai: ニシオガ ^マ)	ab,ae,ah,ai,am	塩窪前の西
61	砂塚	塩窪前	シオガ ^マ フ ^リ (ai: シオガ ^マ フ ^リ)	ab,ae,ah,ai,am	塩窪の南
62	砂塚	安部	アハ	ab,ad,ah,ai,ak,am	集落。アハ: 濡地名
63	砂塚	腰巻田	コシマキダ	ab,ad,ae,ai,ak,am	付: 河川が曲がる地
64	砂塚	西腰巻田	ニシコシマキダ (ai: ニシコシマキダ)	ab,ae,ah,ai,am	"
65	砂塚	北腰巻田	キタコシマキダ	am	"
66	砂塚	南腰巻田	ミンコシマキダ	am	"
67	砂塚	深田	フカタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	塩窪の西。ヲ: 水氣の多い湿地
68	砂塚	江上	エカミ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	江は入江、川
69	砂塚	東川前	ヒガ ^シ カワマ ^エ (ai: ヒガ ^シ カワマ ^エ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川の左岸。自然堤防と後背湿地。集落
70	砂塚	西川前	ニシカワマ ^エ (ai: ニシカワマ ^エ)	ab,ad,ae,ah,al,ak,am, i)	織機川右岸。集落
71	砂塚	宮ノ前	ミヤノマ ^エ (ai: ミヤノマ ^エ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社の前か
72	砂塚	町田	マチタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	川端の南
73	砂塚	川端	カワハタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	織機川左岸。集落
74	砂塚	西川端	ニシカワハタ	ab,ae,ah,ai,am	織機川左岸
75	砂塚	宮ノ堂	ミヤドウ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	神社があったか
76	砂塚	北徳田	キタトケダ	ab,ae,ah,ai,ak,am	参考: アイ語ト・コタ=「沼の村」との説もある
77	砂塚	南徳田	ミントケダ	ab,ae,ah,ai,ak,am	入沼の北。河川氾濫地
78	砂塚	徳田	トケダ	am	
79	砂塚	北徳根田	ミントケタ	ad,ai,ak	
80	砂塚	南徳根田	ミナトケタ	ad,ai,ak	
81	砂塚	川内	カワチ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	ヲ: 大雨のたびに氾濫し浸水した場所
82	砂塚	川内裏	カワチラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	"
83	砂塚	堤端	ツミハタ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	堤有り。旧河道
84	砂塚	宮南 (ae: 宮ノ南)	ミヤミ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	宮之堂の南
85	砂塚	與七作 (ah,ai,ak: 与七作)	ヨシツクリ (ae: ヨシツクリ, ad: ヨシツクリ)	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	人名。織機川左岸の後背湿地
86	砂塚	入沼	イリヌマ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	旧河道に残った沼
87	砂塚	入志田	イリシタ	ab,ad,ae,ah,ai,am	入沼の南。ジタ: 荒れる、ジタ: 重れ下がる
88	砂塚	押切	オツキ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所
89	砂塚	江無	エナシ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	江: 川
90	砂塚	樋下 (ad,ak: 樋ノ下)	トヨナタ	ab,ad,ah,ai,ak,am	川端の南

N O	地区名	字名(地名)	読み	出典	備考
91	砂塚	樋越ノ下	トヨエ/シタ	ae	
92	砂塚	獅子ノ原 (ah,am: 獅子原)	シマカラ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	最上川右岸。氾濫地。シ: 濫地・土砂崩れ地
93	砂塚	江湖	ココ	ab,ad,ae,ah,ai,ak,am	三日月湖。長洲ヶ瀬の南
94	砂塚	小開	コイ	ab	南原の西。開拓地名
95	砂塚	下志田	シモシダ	ab,ae,ah,ai,am	河川氾濫地。シダ: 荒れる、シダル: 垂れ下がる
96	砂塚	上志田	カミシダ	ab,ae,ah,ai,am	押切の南。河川氾濫地
97	砂塚	中志田	ミドリシダ	ab,ae,ah,ai,am	最上川右岸。河川氾濫地
98	砂塚	押切端	オツキハタ	ab,ae,ah,ai,am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所
99	砂塚	長須ヶ瀬 (ae: 長須賀瀬)	ヨウスカガワ	ab,ae,ah,ai,am	長い洲。梨郷 NO10 参照
100	砂塚	道先	ドウセン	ad,ak	
101	砂塚	上道先	カミドウセン	ab,ae,ah,ai,am	織機川右岸
102	砂塚	下道先	シモドウセン	ab,ae,ah,ai,am	織機川右岸
103	砂塚	下西郡	シモニシゴワリ	ab,ae,ah,ai,am	郡御関連地名か

2. 梨郷 (5) その他の地名等

N O	地区名	地名	読み	出典	備考
1	梨郷	根添邑	ネブエモチ	市史編纂資料第10集 P 168、梨郷村史 P 50	梨郷村を根添邑と云う
2	砂塚	沖邑	オムモチ	市史編纂資料第10集 P 168、梨郷村史 P 50	砂塚を沖邑と云う
3	和田	東根添	ヒガシネブエ	梨郷村史 P 50	和田を東根添と云う
4	和田	元堂山	モトドウヤマ	梨郷村史 P 94	八千鉢神社があったと云う。社殿は毘沙門院に移転した
5	梨郷	西根添	ニシネブエ	梨郷村史 P 51	梨郷を西根添と云う
6	梨郷	舟場	フガ	梨郷村史 P 303	幸来橋付近。かつての舟付場跡
7	砂塚か	(南辻の在家)	ミミツジノアザケ	D (市史上巻 P721)	
8	—	梨郷堰 (上館堰)	リコウセキ (カミダセキ)		羽付から和田方向へ流れる川(堰)。途中和光院橋の東で分岐する。南流を「和田行」、西流れを「加行」という
9	竹原	東車塚	ヒガシカラマツカ	文化財台帳 (正元元年大日板碑)	正元元年大日板碑を治兵衛塚の東車塚塔婆とも称したという

3. 大塚（1）大塚の小字名・地名

NO	地区名1	地区名2	字名（地名）	読み	出典	備考
大塚				オオツカ	am	
1	大字大塚	大塚	草刈り場	クサハラフ	am	
2	大字大塚	大塚	草薙場一	クサハラバ イ	am	
3	大字大塚	大塚	草薙場二	クサハラバ ニ	am	
4	大字西大塚	西大塚	岡野	オカノ	am	
5	大字西大塚	西大塚	岡野一	オカノイチ	am	
6	大字東大塚	東大塚	北川原一	キタカワライチ	am	
7	大字東大塚	東大塚	北川原二	キタカワラニ	am	
8	大字東大塚	東大塚	北川原三	キタカワラサン	am	
9	大字東大塚	東大塚	北川原四	キタカワラヨン	am	
10	大字東大塚	東大塚	押切二	オシキリニ	am	堤防決壊地。河川氾濫地。氾濫で川岸が削られた所

※大塚は、元々は川西町大塚であるが、最上川の河川改修により一部が南陽市分となっているため、当該の小字について採録した。

坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

1. 経過

池黒の坂上神明宮には皇大神社の棟札5枚と羽黒神社の神像1体が伝わっている。棟札のうち最も古いものは応徳三年（1086年）銘で、後三年の役があった頃の歴史を伝える資料として市指定文化財となっており、平成六年度に東北歴史資料館の協力を得て赤外線による文字解析調査を行っている。この「応徳三年棟札」は全国的にも最古級の年号であるものの、木材の調整に鑿を使用していることや梵字が記されているなど、所々に新しい要素が見られることから、制作年代に関する調査の必要性が高まり、令和三年度に山形大学高感度加速器質量分析センターにより材の炭素年代測定を実施した。

2. 史料について

（1）棟札（応徳三年棟札）

池黒皇大神社の棟札で、国家安寧を祈り天照皇大神社を再建した際に制作されたと考えられる。棟札銘の詳細は市史上巻に詳しい。表面に墨書きがあり、右側に「応徳三年」、別当「出羽神輿廬」と記し、左側には社殿の再建にたずさわった人の名を記す。最上部に梵字（パン：金剛界大日如来）が記され、天照大神と大日如来を一体とする神仏混交を示す。

寸法：縦57cm×上部17cm×下部15cm×厚さ2cm

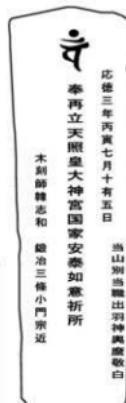
材質技法：針葉樹 木製板に墨書き 銛穴なし

記載年：応徳三年

應徳三年丙寅七月十有五日 当山別當職出羽神輿麻呂 敬白

梵字パン（金剛界大日） 奉再立天照皇大神宮 国家安泰如意祈所

木刻師韓志和 鍛治三条小門宗近



0 5cm

（2）神像

池黒皇大神社の背後にそびえる上の平山（別名：池黒山、羽黒山）の頂上に羽黒神社があり、その本尊（本地仏か）として祀られていた。明治三十五年に風害で社殿が被災して以降社殿は再建されず、像は現在坂上神明宮に安置されている。菩薩形の仏像で神像と称され、平安末期頃の木像聖観音（正觀音）と推測されてきた。



3. 理化学分析

(1) 放射性炭素年代測定（AMS 測定）

採取した計 4 点の試料について放射性炭素年代測定を行った。棟札に関してはウィグルマッチング法による測定を実施した。

調査期間は令和 3 年 12 月 13 日～令和 4 年 1 月 18 日である。

(2) 現地調査及び試料採集

期 日 令和 3 年 12 月 13 日（月）

場 所 坂上神明宮

調査者 山形大学理学部物理学科 教授 門叶冬樹教

社会教育課 課長補佐 角田朋行、文化係長 後藤千佳子

内 容 宮司宅を訪問し、史料の実見と炭素年代測定のための試料採集を行った。

- ・和室にシートを敷き、応徳三年棟札、神像の順で試料を採集
- ・棟札の底面から、幅 5mm × 長さ 1cm 程の試料について年輪で 1 ~ 5 年、10 ~ 15 年、20 ~ 25 年から 3 点を各十数 mg サンプリングした。
- ・神像の脚部から上記と同様に試料 1 点をサンプリングした。

(3) 年代測定の結果

山形大学高感度加速器質量分析センター報告書「南陽市教育委員会 試料 4 点の年代測定」に記載のとおり。

4. 制作年代について

池黒皇大神社は延暦年間（782 ~ 805 年）の創建と伝えられ、応徳三年棟札の他にも再建を記す元和八年（1622 年）棟札と元禄七年（1694 年）棟札、享保二年（1717 年）の尊像建立棟札、文政十二年（1829 年）の屋根修繕棟札が残る（1970 二瓶）。また、羽黒神社は元禄十二年（1699 年）再建との記録がある。

今次調査結果は下記のとおりである。木材の伐採時期を示す放射性炭素年代測定の結果（ 1σ 厳密年代範囲・ 2σ 厳密年代範囲）及び再建記録からすれば、池黒皇大神社の応徳三年棟札は元禄～宝曆年間に木材を調達し制作されたもの、羽黒神社の神像は享保～明和年間に木材を調達し制作されたものと考えるのが妥当ではないかと考えられる。

(1) 棟札（応徳三年棟札）

炭素年代測定の結果、池黒皇大神社の応徳三年棟札に使用されている木材の伐採時期は 2σ 厳密年代範囲で 1686 ~ 1710 年（29.5%）、1743 ~ 1782 年（39.4%）との年代範囲が得られた。これにより棟札は江戸時代に制作された若しくは作り直されたものであることが明らかになった。

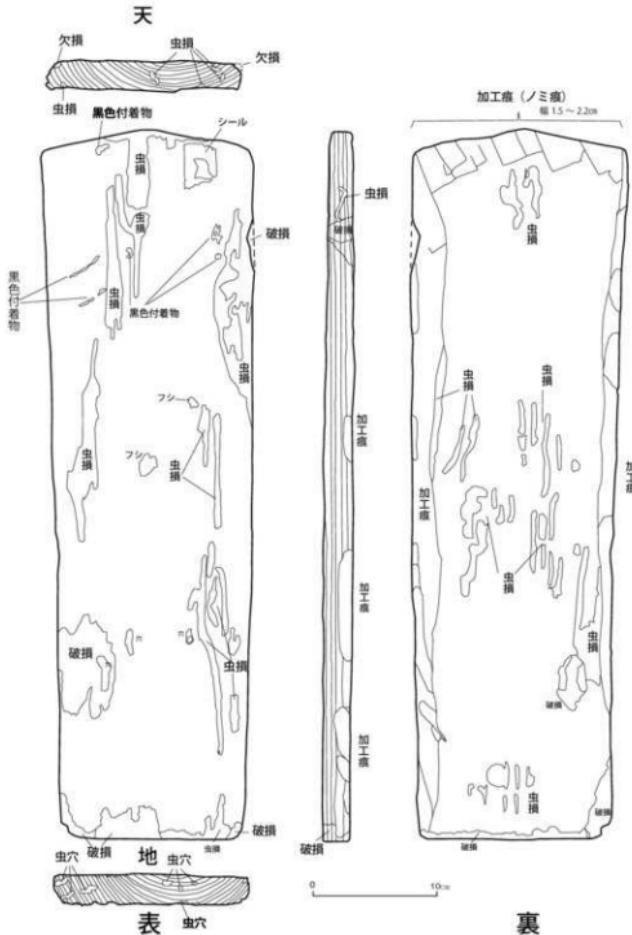
(2) 神像

炭素年代測定の結果、羽黒神社の神像（観音像）に使用されている木材の伐採時期は 2σ 厳密年代範囲で 1721 ~ 1783 年（31.4%）という年代範囲が得られた。これにより神像は江戸時代に制作された木像であることが明らかになった。

5. 棟札のカビ除去等処置について

棟札は、カビや塵埃、虫損による劣化が見られたため、令和4年1月6日～22日に夕鶴の里資料館において以下の方針のもとカビ除去の応急処置を実施した。

- 史料の状態調査を行い、劣化度合を把握する。
- 薬剤を含ませない筆を使い、汚れや塵埃を除去する。
- エタノール消毒を行い、カビの除去とこれ以上の広がりを防ぐ。
- ヤニの除去を行う。



6. 年代測定

南陽市教育委員会 試料 4 点の年代測定

2022 年 1 月 18 日

山形大学高感度加速器質量分析センター

1. はじめに

南陽市教育委員会 試料 4 点（写真 1）に対して、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。（皇大神社の棟札 3 点、羽黒神社神像 1 点）

2. 試料と測定方法

表 1 に試料情報を示す。測定試料は、元素分析計、質量分析計、ガラス真空ラインより構成されるグラファイト調整システムにてグラファイト化を行った。その後、加速器質量分析装置（NEC 製 1.5SDH）を用いて放射性炭素濃度を測定した。

3. 結果

表 2～3 に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行った放射性炭素年代、較正曲線データを使用して放射性炭素年代を曆年代に較正した年代範囲を示す。各試料の曆年較正結果については、本報告書に添付した。

また、年輪間隔の分かったそれぞれの測定試料の放射性炭素年代を較正曲線上で比較照合する、いわゆる「ウィグルマッチング」法で得られた結果を表 2 及び図 1 にそれぞれ示す。サンプルの最外年輪層に対する年代範囲として「NNY-MNFD」試料では 1686–1710 年 (29.5%) , 1743–1782 年 (39.4%) , 1797–1799 年 (0.5%) , 1815–1826 年 (8.8%) , 1855–1882 年 (5.0%) , 1886–1892 年 (1.0%) , 1933–1961 年 (11.3%) が得られた。



写真1. 試料情報

表1. 試料情報

ラボコード	測定試料名	試料情報	試料状態	処理
YU-14977	NNY-MNFD_1-5	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13受取 南陽市皇大神社 棧札 1-5 年輪試料 NNY-MNFD_1-5	前処理後の試料 12.611mgから3.104mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) → アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14978	NNY-MNFD_15-20	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13受取 南陽市皇大神社 棧札 15-20 年輪試料 NNY-MNFD_15-20	前処理後の試料 8.949mgから3.139mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) → アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14979	NNY-MNFD_21-25	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13受取 南陽市皇大神社 棧札 21-25 年輪試料 NNY-MNFD_21-25	前処理後の試料 10.779mgから3.137mg使用	超音波洗浄実施 アセトン5分(1回)→クロロホルム +メタノール(1:1)30分(2回) → アセトン5分(2回) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間
YU-14980	NNY-SNZ	南陽市教育委員会 社会教育課試料 2021/12/13受取 南陽市羽黒神社 神像 1年輪分 年輪試料 NNY-SNZ	前処理後の試料 3.268mgから3.232mg使用	超音波洗浄実施(純水、アセトン) AAA処理 1M HCl 80度1時間 1M NaOH 80度1時間(2回) 1M HCl 80度1時間

表2. 「NNY-MNFD」試料の放射性炭素年代測定及び曆年較正の結果

測定番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	放射性炭素年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	放射性炭素年代を曆年で較正した年代範囲	
				1σ 曆年範囲	2σ 曆年範囲
YU-14977	NNY-MNFD_1-5	-27.70 \pm 0.46	134 \pm 26	1684AD (10.7%) 1706AD 1720AD (7.3%) 1735AD 1803AD (6.9%) 1818AD 1833AD (31.6%) 1891AD 1907AD (11.7%) 1930AD	1675AD (26.8%) 1744AD 1750AD (4.4%) 1765AD 1799AD (64.2%) 1942AD
YU-14978	NNY-MNFD_15-20	-27.86 \pm 0.37	171 \pm 20	1670AD (12.3%) 1686AD 1733AD (37.6%) 1779AD 1799AD (5.0%) 1805AD 1928AD (13.3%) 1945AD	1662AD (18.2%) 1695AD 1725AD (53.2%) 1813AD 1839AD (0.8%) 1846AD 1852AD (2.4%) 1877AD 1916AD (20.9%) ...
YU-14979	NNY-MNFD_21-25	-28.10 \pm 0.57	152 \pm 20	1675AD (13.6%) 1695AD 1725AD (13.0%) 1744AD 1749AD (10.9%) 1766AD 1799AD (9.1%) 1812AD 1840AD (1.2%) 1842AD 1873AD (1.5%) 1876AD 1916AD (19.0%) 1942AD	1668AD (15.4%) 1700AD 1721AD (29.8%) 1782AD 1796AD (9.9%) 1816AD 1833AD (19.3%) 1890AD 1907AD (21.1%) ...
ウイグルマッチ				1689AD (26.4%) 1706AD 1748AD (25.3%) 1764AD 1773AD (6.4%) 1779AD 1818AD (6.7%) 1824AD 1939AD (3.4%) 1943AD	1686AD (29.5%) 1710AD 1743AD (39.4%) 1782AD 1797AD (0.5%) 1799AD 1815AD (8.8%) 1826AD 1855AD (5.0%) 1882AD 1886AD (1.0%) 1892AD 1933AD (11.3%) 1961AD

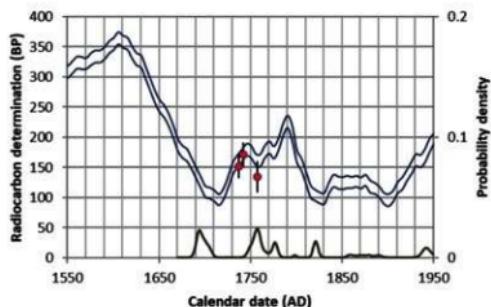


図1. 「NNY-MNFD」試料に対するウイグルマッチの結果

表3. 「NNY-SNZ」試料の放射性炭素年代測定及び曆年較正の結果

測定番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	放射性炭素年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	放射性炭素年代を曆年で較正した年代範囲	
				1σ 曆年範囲	2σ 曆年範囲
YU-14980	NNY-SNZ	-28.88 \pm 0.39	154 \pm 20	1674AD (13.1%) 1694AD 1726AD (26.3%) 1768AD 1773AD (1.9%) 1777AD 1798AD (8.8%) 1812AD 1917AD (18.1%) 1943AD	1667AD (15.7%) 1700AD 1721AD (31.4%) 1783AD 1796AD (9.9%) 1815AD 1833AD (17.2%) 1889AD 1908AD (21.2%) ...

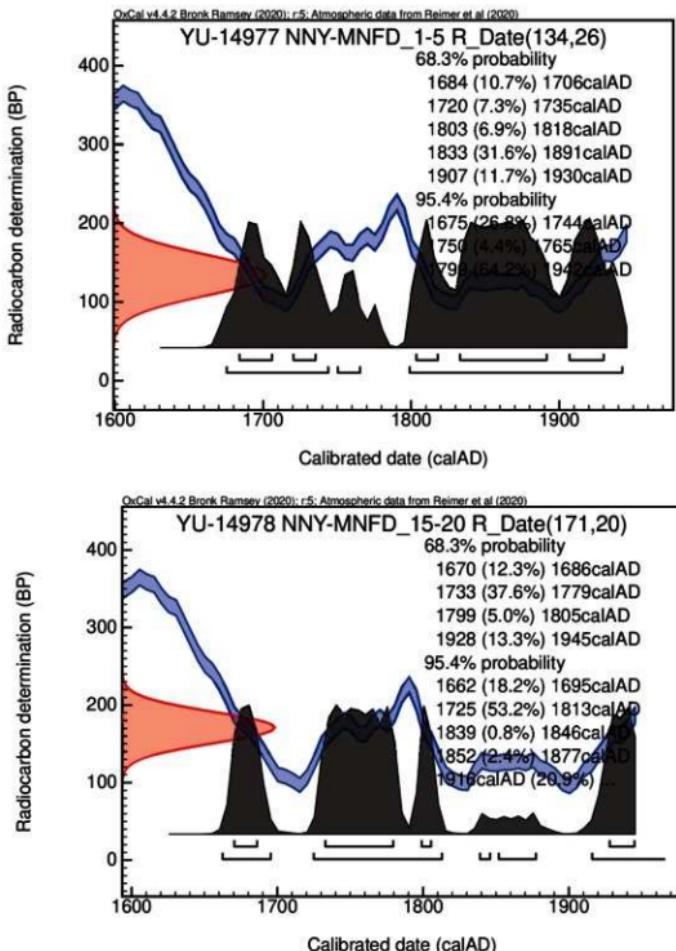
===== 年代測定の考え方 =====

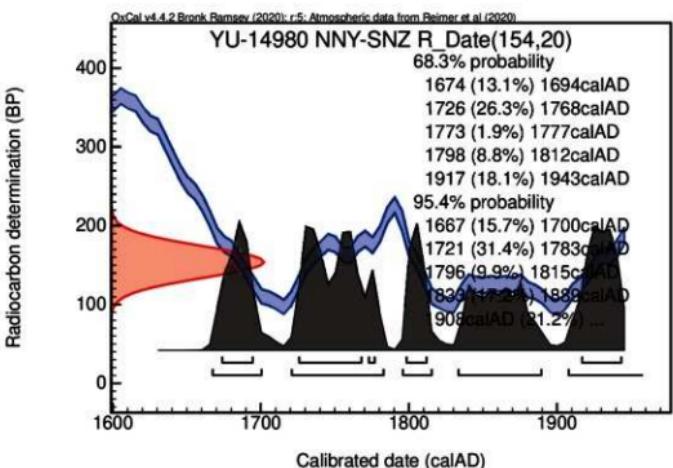
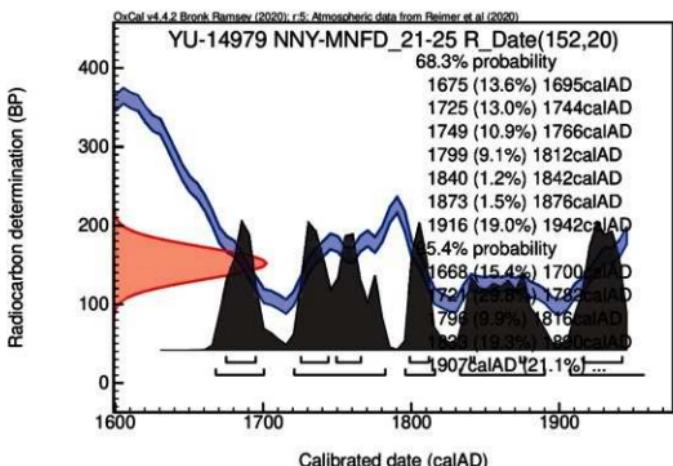
放射性炭素 (^{14}C) 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68. 2% であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。 ^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4. 4. 2¹⁾ (較正曲線データ : IntCal20²⁾ を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68. 2% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95. 4% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

参考文献

- 1) C Bronk Ramsey, BAYESIAN ANALYSIS OF RADIOCARBON DATES, Radiocarbon, 51 (1), 337-360 (2009).
- 2) Paula J Reimer, William E N Austin, Edouard Bard, Alex Bayliss, Paul G Blackwell, Christopher Bronk Ramsey, Martin Butzin, Hai Cheng, R Lawrence Edwards, Michael Friedrich, Pieter M Grootes, Thomas P Guilderson, Irka Hajdas, Timothy J Heaton, Alan G Hogg, Konrad A Hughen, Bernd Kromer, Sturt W Manning, Raimund Muscheler, Jonathan G Palmer, Charlotte Pearson, Johannes van der Plicht, Ron W Reimer, David A Richards, E Marian Scott, John R Southon, Christian S M Turney, Lukas Wacker, Florian Adolphi, Ulf Büntgen, Manuela Capello, Simon M Fahrni, Alexandra Fogtmann-Schulz, Ronny Friedrich, Peter Köhler, Sabrina Kudsk, Fusa Miyake, Jesper Olsen, Frederick Reinig, Minoru Sakamoto, Adam Sookdeo, Sahra Talamo, THE INTCAL20 NORTHERN HEMISPHERE RADIOCARBON AGE CALIBRATION CURVE (0–55 CAL kBP), Radiocarbon, 62, 1-33 (2020).





引用・参考文献

1. 安齋徹・西村真次 1938『東置賜郡史』財団法人東置賜郡教育會
2. 山形県 1938『山形県地名録』
3. 山形県 1965『山形県史資料編九』山形県
4. 山田二男 1965『光保里親世音縁起』『宮内文化史資料第11集』宮内文化史研究会
5. 長井政太郎 1968『赤湯町史』赤湯町史編纂委員会発行
6. 二瓶精蔵 1970『別所皇大神社の由緒と棟札』『宮内文化史資料第24集』宮内文化史研究会
7. 沖郷村 1973『沖郷村史』沖郷村史編纂委員会
8. 黒江太郎 1976『宮内熊野大社史』熊野文化研究所発行
9. 山形県 1977『山形県史資料篇十五 上古代中世史料1』山形県
10. 安彦好重 1978『山形県の地名』高陽堂書店
11. 小畠清 1979『梨郷村史』梨郷村史編纂会
12. 「角川日本地名大辞典」編纂委員会 1981『角川日本地名大辞典』圓角川書店
13. 南陽市教育委員会 1983『市史編集資料第10号』南陽市教育委員会
14. 吉野一郎 1984『鶴矢ノ目館跡遺跡』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第1集) 南陽市教育委員会
15. 南陽市教育委員会 1984『市史編集資料第14号』南陽市教育委員会
16. 米沢市史編さん委員会 1985『米沢市史資料篇1』
伊達家関係資料「北条段鉄帳」「晴宗公采地下賜錄」外『米沢市史資料篇1』
17. 郷土史編集委員会 1986『鍋田郷土史』南陽市鍋田部落会
18. 南陽市教育委員会 1987『市史編集資料第17号』南陽市教育委員会
19. 南陽市史編さん委員会 1988『南陽市史民俗編』南陽市
20. 南陽市史編さん委員会 1990『南陽市史上巻』南陽市
21. 南陽市史編さん委員会 1991『南陽市史中巻』南陽市
22. 南陽市史編さん委員会 1992『南陽市史下巻』南陽市
23. 角田朋行 1993『平成5年度南陽市字限図調査報告書—平野部一』南陽市教育委員会
24. 山形県神道青年会南陽東置賜支部 1994『南陽東置賜 神社参拝のしをり』
25. 滝沢由美子 1995『地籍図による地域環境と景観の復元』『歴史地理学 172』歴史地理学会
26. 山形県教育委員会 1995『山形県中世城館遺跡調査報告書第1集(置賜地域)』山形県教育委員会
27. 南陽市教育委員会 1996『市史編集資料第26号』南陽市教育委員会
28. 山形新聞社 2003『やまとがた地名伝説第1巻』(山形新聞社)
29. 須貝龍男 2010『影往考—南陽市島貫の歴史』須貝龍男
30. 南陽市教育委員会 2010『市史編集資料第39号』南陽市教育委員会
31. 高橋一彦ほか 2010『天王遺跡第1・2次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書第186集)
32. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書(3)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第11集)
南陽市教育委員会
33. 角田朋行 2016『南陽市遺跡分布調査報告書(4)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第13集)
南陽市教育委員会
34. 角田朋行 2017『南陽市遺跡分布調査報告書(5)』(南陽市埋蔵文化財調査報告書第15集)
南陽市教育委員会
35. 角田朋行 2021『南陽市字限図調査報告(1)ー赤湯・宮内・金山ー』(南陽市文化財調査報告書第1集)
南陽市教育委員会
36. 角田朋行 2022『南陽市字限図調査報告(2)ー沖郷ー』(南陽市文化財調査報告書第2集)
南陽市教育委員会

報告書抄録

ふりがな	なんようしあざきりずちょうさほうくしょ（3）一うるしやま・りんごう一
書名	南陽市字限図調査報告書（3）—漆山・梨郷—
副書名	坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査
卷次	
シリーズ名	南陽市文化財調査報告書
シリーズ番号	第3集
編著者名	角田朋行
編集機関	南陽市教育委員会
所在地	〒999-2292 山形県南陽市三間通436番地1 TEL 0238-40-3211
発行年月日	2023年3月31日
要約	市内遺跡分布調査の基礎資料として市内平野部の字限図調査を実施したもの。明治期の字限図から字寄図を作成し、それを基本図として土地利用図等を作成した。土地利用図と地名等から地形状況の把握や館跡等の検討を行った。また、小字名・地名等を探録した。本報告書では市内8地区のうち漆山・梨郷地区分について報告している。 また、坂上神明宮所蔵の皇大神社の応徳三年銘棟札と羽黒神社の神像の木材の炭素年代測定を行い、共に近世の制作であることが明らかになった。

南陽市文化財調査報告書
南陽市字限図調査（3）
— 漆山・梨郷 —
坂上神明宮所蔵 棟札及び神像の調査

2023年3月31日

発行 南陽市教育委員会
〒 999-2292 山形県南陽市三間通 436 番地の 1
電話 0238-40-3211（代）
印刷 有限会社文進堂印刷
〒 999-2221 山形県南陽市柵塚 811-3
電話 0238-43-2116

